

第2章 花き作の診断実施マニュアル

1. 花き作農業経営診断予備調査表

農業経営診断診断予備調査表 (個人経営1-1)

〈花き作〉

(平成 年 月現在)

診断希望事項			
1. 認定農業者 エコファーマー 所在地 代表者名 就業年数 集落組織参加 集団栽培 経営の業態	第1日認定日 平成 年 月・第 日 年 月	5. 栽培作目の主な種目と生産量・比率	
	認定日 平成 年 月	切り花類	バラ 鉢 %
	〒 町	鉢もの類	鉢 %
	(年齢)	花壇用苗もの類	鉢 %
	S・H 年 月・就業後 年	球根類	鉢 %
	①S・H 年参加②参加考慮中③参加未定	ハーブ類	鉢 %
①有り・②無し	洋蘭類	鉢 %	
①単一経営・②複合経営()	花木類	鉢 %	
	芝類・地被類等	鉢 %	
2. 生産部門該当に○印	(1) 耕種	6. 栽培法(あなたの栽培作型に○印をつける)	
	(2) 畜産	(1)露地栽培 (2)マルチ栽培 (3)トンネル栽培	
	(3) 養蚕	(4)パイプ栽培(ジネツ) (5)ハウス内・トンネル栽培	
	(4) 加工	(6)雨よけハウス (7)防除ネットのトンネル栽培	
		(8)施設栽培	
		①ハウス土耕流水式(加湿・無加湿)	
	②ハウス養液土耕式		
	③ハウス養液栽培式		
	養液水耕栽培		
	NFT 型水耕		
	固形培地耕栽培		
	ロックウール式		
	ポリウレタン		
	パーライト耕		
	くん炭耕		
3. 農業経営の現状と計画	◆作目・作型	作物面積	生産量
	①露地畑	畝	トン
	②温室ハウス	畝 棟	
	③雨どいハウス	畝 棟	
	④		
	面積 ไร่合計	畝	トン
◆経営耕地	地目	面積	
①所有地	畑・水田・他	畝	
②借入地	畑・水田・他	畝	
◆作業受委託	作業内容	面積等	
		畝	
4. 生産方式	◆機械・農具	形式・性能	台数・面積等
	①		
	②		
	③		
	④		
	農用地の現状	①30%区画主体	②耕地がブロック
7. 安心安全への取組み課題		◆生産面の課題	
(1) 化学合成農薬を慣行の50%以上減らす		(1) 有機質の土づくり	
(2) 化学肥料を慣行の50%以上減らす		(2) 老朽化ハウスのリニューアル	
(3) 農薬の名称・用途及び使用回数を表示する		(3) 高品質化とオリジナル品種の導入	
(4) 性フェロモン材等誘引剤を使用した旨を表示する		(4) 地域ブランド化の推進	
(5) 天敵を使用した旨(名称)を表示する		(5) 省力化・機械化・システム化の導入	
(6) 特定防除資材を使用した旨(名称)を表示する		(6) 卸・小売店との連携生産	
(7) 化学肥料(50%減)の用途及び窒素性分量(10aあたり)を表示			
8. 作業記録・日誌の有無			
(1) 栽培工程毎の記録(時間・内容・方法等)の有無			
(2) 防除・施肥記録(名称・使用量・回数)の有無			

農業経営診断予備調査表 (個人経営1-2)

〈花き作〉

(平成 年 月現在)

5. 販売関係の現状と方針	(1) 消費客のニーズ把握 ①している ②していない (2) 対象とする客層を ①決めている ②決めていない (3) 直販の顧客名簿 ①有 ②無 (4) 販売計画 ①有 ②無 (5) 計画の達成度 ①高い ②普通 ③低い (6) 達成しない理由 (7) 販売の現状 ①JA共販 _____% (品目) _____ ②花き市場等 _____% (品目) _____ ③直売店・朝市 _____% (品目) _____ ④大型店等 _____% (品目) _____		(9) 農産物の部門別・生産量と販売額 <table border="1"> <thead> <tr> <th>生産品種</th> <th>生産量(%)</th> <th>販売額(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>④</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑤</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>計</td> <td>本鉢 100%</td> <td>種 100%</td> </tr> </tbody> </table>		生産品種	生産量(%)	販売額(%)	①			②			③			④			⑤			計	本鉢 100%	種 100%
	生産品種	生産量(%)	販売額(%)																						
①																									
②																									
③																									
④																									
⑤																									
計	本鉢 100%	種 100%																							
(8) 今後の販売戦略の課題 (○印) ①消費者ニーズを収集し計画的な生産と出荷に取り組む ②小売店の要望に対応して1箱(100鉢)に5～6品種のミックス出荷 ③高度な生産技術で高品質品を出荷する ④JA花束加工工場から量販店等へ周年取引		(10) 今後の販売方針 (○印) ①切花の日持ち保証販売 ②日持ち性に優れた品種 ③魅力的な色彩や草姿品種 ④切花のパケット流通販売 ⑤ホームユース用短茎もの出荷 ⑥契約販売の推進																							
6. 財務会計	(1) 複式簿記 (パソコン活用有・無) (2) 借入金の内訳 ①農業経営基盤強化資金(ス-P-L) _____千円 ②農業経営改善資金 (ス-P-S) _____千円 ③農業近代化資金 _____千円 ④経営体育成強化資金 _____千円 ⑤その他 _____千円 (3) 利益計画 有・無		(4) 資金の運用と調達 ①借入金残高 _____千円 ②元金償還額 _____千円 ③税引後利益 _____千円 ④減価償却費 _____千円 ⑤キャッシュフロー-③+④ _____千円 ⑥運用余剰金⑤-② _____千円 (5) 設備投資計画 有・無 ①借入金予定(返済年) _____千円 ②年間元金償還額 _____千円																						
	(7) 人事関係 (1) 人手 ①十分 ②普通 ③不足 (2) 労働条件通知書(雇用時) 有・無 (3) 国民健康保険(加入) 有・無 (4) 農業者年金(加入) 有・無 (5) 労災保険(5人以上) 有・無 (6) 雇用保険(5人以上) 有・無 (7) 小規模共済保険 有・無 (8) 家族経営協定書 有・無		(9) 労働力(人数) ①家族(うち女性) _____人() ②常時雇用(6カ月以上の契約) _____人() ③臨時雇用(6カ月以内の契約) _____人() (10) 労働時間(年間常時雇用以上) (現在) (目標) ①家族 _____時間 _____時間 ②常時雇用 _____時間 _____時間																						
8. 労務施策	◆①は検討中②は実施中に○印をつける (1) 責任分担チーム組織を ① ② (2) ハウス毎の担当者制を ① ② (3) 品種毎の責任分担制を ① ② (4) 栽培作業の無人化システム ① ② (5) 省力化・能率化の機械の導入 ① ② (6) 各種作業マニュアルの導入 ① ②		◆経営上の問題点(該当に○印) ・従業者の高齢化 ・作業工程別計画の不備 ・担い手の確保難 ・品質管理が弱い ・生産方式の改善難 ・利益率の低下 ・後継者難 ・無減農薬の対応不十分 ・販売力が弱い ・有機栽培の対応不十分 ・生産コストが高い ・各種マニュアルの不備																						

作業別労働時間調査表 (2-1)

作目名 カーネーション (スタンダード)

〈作業別・時期別労働時間10㎡当り〉

区 分	基準値	H 年	H 年	概%	摘 要
	A. 10㎡当り	B. 全 体	C. 10㎡当り	C÷A×100	
(1) 作付け面積	逆式 5,000 ㎡	㎡	㎡		栽培面積全体
(2) 延作業人数	8 人				人 (人)
() 内雇人数	6 人				作業者全体
(3) 労働時間合計	1,917.0 時間				時間
() 1人当り労働時間					10㎡当り
① 育苗労働時間	0.0 時間	時間	時間		10㎡当り
② 本舗労働時間計	719.0				10㎡当り
土壌消毒	50.0				
定植床準備	12.0				
定植	75.0				
施肥	64.0				
灌水	38.0				
摘心・整枝	85.0				
摘芽	108.0				
ネット張り	65.0				
防除	50.0				
ビニール張・除去	40.0				
除草・換気	45.0				
額割れ防止テープ 巻き	37.0				
ほ場片付け	50.0				
③ 間接労働時間計	1,198.0				10㎡当り
切花収穫	478.0				
出荷・調整	720.0				
④ その他	0.0				10㎡当り
研修等					
(4) 労働時間区分					
① 家族労働 (男女2人)					
② 雇 用 (女 人)					

社団法人 中小企業診断協会

作業別労働時間調査表 (2-2)

作目名 カーネーション (スプレー)

〈作業別・時期別労働時間10%当り〉

区 分	基準値	H 年	H 年	規%	備 考
	A. 10%当り	B. 全 体	C. 10%当り	C÷A×100	
(1) 作付け面積	延べ 5,000 ㎡	㎡	㎡		栽培面積全体
(2) 延作業人数	8人				人 (人)
() 内雇人数	6人				作業者全体
(3) 労働時間合計	1,957.0 時間				時間
() 1人当り労働時間					10%当り
① 育苗労働時間	0.0 時間	時間	時間		10%当り
② 本舗労働時間計	989.0				10%当り
土壌消毒	12.0				
定植床準備	24.0				
定植	45.0				
施肥	66.0				
灌水	72.0				
摘心・整枝	55.0				
摘芽	420.0				
ネット張り	72.0				
防除	40.0				
ビニール張・除去	33.0				
除草・換気	90.0				
額割れ防止テープ 巻き					
ほ場片付け	60.0				
③ 間接労働時間計	968.0				10%当り
切花収穫	440.0				
出荷・調整	528.0				
④ その他	0.0				10%当り
研修等					
(4) 労働時間区分					
①家族労働 (男女2人)					
②雇 用 (女 人)					

社団法人 中小企業診断協会

作業別労働時間調査表 (2-3)

作目名 キ ク (土耕栽培)

〈作業別・時期別労働時間10%当り〉

区 分	基準値	H 年	H 年	比%	摘 要
	A. 10%当り	B. 全 体	C. 10%当り	C÷A×100	
(1) 作付け面積	1,000㎡ 1 棟	㎡	㎡		
(2) 延作業人数 () 内雇人数	人 人				人 (人)
(3) 労働時間合計 () 1人当り労働時間	1,881.9 時間				時間
① 育苗労働時間	0.0 時間	時間	時間		
② 本舗労働時間計	1,033.0				
前作片付け	13.5				
土壌消毒	24.0				
堆肥投入	24.0				
定植準備	30.0				
整枝	9.0				
支柱・ネット張り	24.0				
施肥	18.0				
防除	199.5				
灌水	49.0				
電照	0.0				
摘らい	432.0				
ハウス管理	90.0				
③ 間接労働時間計	848.9				
収穫	378.0				
調整	450.0				
出荷	20.9				
④ その他計	0.0				
(4) 労働時間区分					
① 家族労働 (男女2人)					
② 雇 用 (女 人)					

社団法人 中小企業診断協会

作業別労働時間調査表 (2-4)

作目名 トルコキキョウ (ハウス超促成・促成・半促成)

〈作業別・時期別労働時間10%当り〉

区 分	基準値	H 年	H 年	批%	摘 要
	A. 10%当り	B. 全 体	C. 10%当り	C=A×100	
(1) 作付け面積	4,000 ㎡	㎡	㎡		作付け全体
(2) 延作業人数 ○内雇人数	7人 5人				人 (人)
(3) 労働時間合計 ○1人当り労働時間	1,511.7 時間				時間 10%当り
① 育苗労働時間	72.5 時間	時間	時間		10%当り
播種の準備	30.0				
播種	6.0				
灌水	22.0				
防除	3.5				
冷房育苗管理	11.0				
② 本舗労働時間計	495.7				10%当り
耕耘	7.5				
土壌消毒	16.0				
堆肥・元肥投入	12.0				
畦立て	18.0				
マルチング	13.5				
定植	135.0				
灌水	4.9				
防除	24.0				
追肥	4.2				
ネット張り	54.0				
換気	49.5				
温度管理	60.0				
一般管理	53.0				
③ 間接労働時間計	889.5				10%当り
採花	290.0				
調整	580.0				
出荷	19.5				
④ その他計	54.0				10%当り
片付け	54.0				
(4) 労働時間区分					
① 家族労働 (男女2人)					
② 雇 用 (女 5人)					

社団法人 中小企業診断協会

作業別労働時間調査表 (2-5)

作目名 ガーベラ

〈作業別・時期別労働時間10㎡当り〉

区 分	基準値	H 年	H 年	比%	備 考
	A. 10㎡当り	B. 全 体	C. 10㎡当り	C÷A×100	
(1) 作付け面積	㎡	㎡	㎡		栽培面積全体
(2) 延作業人数 () 内雇人数	人 人				人 (人) 作業者全体
(3) 労働時間合計 () 1人当り労働時間	2,191.4 時間				時間 10㎡当り
① 育苗労働時間	22.0 時間	時間	時間		10㎡当り
苗管理備	22.0				
② 本舗労働時間計	496.6				10㎡当り
定植準備	92.0				
定植	22.0				
施肥・灌水	49.8				
葉かき	212.4				
薬剤散布	62.4				
施肥管理	32.8				
除草・片付け	25.2				
③ 間接労働時間計	1,648.0				10㎡当り
収穫	344.0				
選別・調整	1,309.0				
④ その他 時間計	24.8				10㎡当り
研修等	24.8				
(4) 労働時間区分					
①家族労働 (男女2人)					
②雇 用 (女 人)					

社団法人 中小企業診断協会

収益・費用調査表 (3-1)

作目名 カーネーション (スタンダード)

(単位: 本、円、%)

項 目		基準値	H 年	H 年	対比 %	% 摘 要
		A. 10%当り	B. 全 体	C. 10%当り	$C \div A \times 100$	
粗 収 益	生産量	130,000				(単位: 本)
	販売単価	48				出荷市場3年間の平均単価
	生産額	6,240,000				
	副産物収入	0				
	合 計	6,240,000				①
経 営 費	変 動 費	種苗費	1,000,000			発根苗、ロイヤリティーを含む
		肥料費	89,550			
		農薬費	162,558			
		光熱動力費	729,750			重油、電気代、ガソリン
		諸材料費	102,800			フラワーネット、がく剥離テープ等
		小農具費	2,000			
		賃料料金	0			
		雇用労費	867,000			850円/時間
		水利費	0			
		その他	0			
		計	2,953,658			
	出 荷 経 費	資材費	253,500			ダンボール箱、スリーブ
		運賃	273,000			
		手数料	754,923			市場10%、共販手数料3%
		その他	0			
		計	1,281,423			
	小 計	4,235,081				
	固 定 費	減価償却費	496,994			
		成園費・成畜費	0			
		借地料	0			
		修繕費	110,922			
		その他	0			
	小 計	607,916				
	合 計	4,842,997				②
成 果	農 業 所 得	1,397,004				③ = ① - ②
	所 得 率	22.4%				③ ÷ ①
	労働1時間当り所得	1,771				③ ÷ T (円/時間)
家族労働見積額		1,420,200				
自己資本利子見積額		138,024				
自己地代見積額		13,000				
生産費 (全額参入生産費)		6,414,221				④
利潤		-174,221				⑤ = ① - ④
利潤率		-2.8%				⑤ ÷ ①
総労働時間 (時間)		1,917				
家族労働時間		789				T
雇用労働時間		1,128				
損益分岐点売上高						
損益分岐点販売量						

(注1) 基準値は、静岡県農業試験場モデル。

社団法人 中小企業診断協会

(注2) B欄は、診断先の実績を記入する。

(注3) 栽培面積1畝の場合、およそ基準値の10倍の数字になると考えられる。

収益・費用調査表 (3-2)

作目名 カーネーション (スプレー)

(単位: 本、円、%)

項 目		基準値	H 年	H 年	対 比 %	摘 要
		A. 10ア当たり	B. 全 体	C. 10ア当たり	C ÷ A × 100	
粗 収 益	生産量	150,000				(単位: 本)
	販売単価	53.6				出荷市場の平均単価
	生産額	8,040,000				
	副産物収入	0				
	合 計	8,040,000				①
経 営 費	変 動 費	種苗費	1,100,000			パテント料を含む
		肥料費	109,500			
		農薬費	150,800			
		光熱動力費	870,750			重油、電気代、ガソリン
		諸材料費	144,800			フラワーネット、ビニール等/使用年数
		小農具費	4,000			
		賃料料金	0			
		雇用労費	1,020,170			850円/時間
		水利費	0			
		その他	0			
		計	3,430,020			
	出 荷 経 費	資材費	286,100			
		運賃	315,000			
		手数料	1,045,200			市場10%, 共販3%
		その他	0			
		計	1,646,300			
	小 計		5,046,320			
	固 定 費	減価償却費	496,994			
		成園費・成畜費	0			
		借地料	0			
		修繕費	110,922			
		その他	0			
	小 計		607,916			
	合 計		5,654,236			②
成 果	農 業 所 得		2,385,765			③ = ① - ②
	所 得 率		29.7%			③ ÷ ①
	労働1時間当り所得		3.152			③ ÷ T (円/時間)
家族労働見積額		1,362,240				
自己資本利子見積額		144,605				
自己地代見積額		10,000				
生産費 (全額参入生産費)		7,171,080				④
利潤		868,920				⑤ = ① - ④
利潤率		10.8%				⑤ ÷ ①
総労働時間 (時間)		1,957				
家族労働時間		757				T
雇用労働時間		1,200				
損益分岐点売上高						
損益分岐点販売量						

(注1) 基準値は、静岡県農業試験場モデル。

社団法人 中小企業診断協会

(注2) B欄は、診断先の実績を記入する。

(注3) 栽培面積1アの場合、およそ基準値の10倍の数字になると考えられる。

収益・費用調査表 (3-3)

作目名 キ ク

(単位: 本、円、%)

項 目		基準値	H 年	H 年	対比 %	摘 要
		A. 10%当り	B. 全 体	C. 10%当り	$C \div A \times 100$	
粗 収 益	生産量	108,000				出荷(本数)
	販売単価	77				1本当り単価
	生産額	8,316,000				
	副産物収入	0				
	合 計	8,316,000				①
経 営 費	変 動 費	直 種苗費	131,530			全量発根苗購入
		肥 肥料費	311,280			堆肥を含む
		農 農薬費	642,910			平均250 1/10a 散布
		接 光熱動力費	35,760			重油、電気代、ガソリン
		諸材料費	0			ワラネット、支柱/使用年数
		生 小農具費	5,000			
		賃料料金	0			
		雇 雇用労費	756,925			850円/時間
		水 水利費	3,000			
		費 その他	0			
		計	3,344,405			
	出 荷 経 費	資材費	276,400			ダンボール箱、敷き紙
		運賃	614,250			
		手数料	1,397,760			共通手数料50円/・CS部会10円/CS
		その他	0			
		計	2,287,410			
	小 計	5,631,815				
	固 定 費	減価償却費	584,670			
		成園費・成畜費	0			
		借地料	0			
		修繕費	199,130			
		その他	0			
	小 計	783,800				
	合 計	6,415,615				②
成 果	農 業 所 得	1,900,385				③=①-②
	所 得 率	22.9%				③÷①
	労働1時間当り所得	1,917				③÷T (円/時間)
	家族労働見積額	1,784,475				
	自己資本利子見積額	157,370				
	自己地代見積額	10,000				
	生産費(全額参入生産費)	8,367,460				④
	利潤	-51,460				⑤=①-④
	利潤率	-0.6%				⑤÷①
	総労働時間(時間)	1,882				
	家族労働時間	991				T
	雇用労働時間	891				
	損益分岐点売上高	2,428,881				
	損益分岐点販売量	31,541				

(注1) 基準値は、静岡県農業試験場モデル。

社団法人 中小企業診断協会

(注2) B欄は、診断先の実績を記入する。

(注3) 栽培面積1畝の場合、およそ基準値の10倍の数字になると考えられる。

収益・費用調査表 (3-4)

作目名 トルコキキョウ

(単位: 本、円、%)

項 目		基準値	H 年	H 年	対 比 %	摘 要
		A. 10%当り	B. 全 体	C. 10%当り	C ÷ A × 100	
粗 収 益	生産量	37,500				3作の平均収穫
	販売単価	130				3作の1本当り平均単価
	生産額	4,875,000				
	副産物収入	0				
	合 計	4,875,000				①
経 営 費	変 動 費	種苗費	180,000			種子代
		肥料費	32,280			
		農薬費	32,295			
		光熱動力費	836,910			重油、電気代、ガソリン
		諸材料費	148,463			内、外動 ビニール、マルチ
		小農具費	0			
		賃料料金	0			
		雇用労費	541,450			850円/時間
		水利費	0			
		その他	0			
		計	1,771,398			
	出 荷 経 費	資材費	204,640			ダンボール箱、輪ゴム等
		運賃	304,054			
		手数料	609,375			市場10%, 農産・経路運2.5%
		その他	0			
		計	1,118,069			
	固 定 費	小 計	2,889,467			
		減価償却費	282,049			
		成園費・成畜費	0			
		借地料	0			
		修繕費	63,018			
		その他	0			
		小 計	345,067			
	合 計	3,234,534				②
成 果	農 業 所 得	1,647,466				③ = ① - ②
	所 得 率	33.7%				③ ÷ ①
	労働1時間当り所得	1,875				③ ÷ T (円/時間)
家族労働見積額		1,574,460				
自己資本利子見積額		71,483				
自己地代見積額		10,000				
生産費 (全額参入生産費)		4,890,477				④
利潤		-15,477				⑤ = ① - ④
利潤率		-0.3%				⑤ ÷ ①
総労働時間 (時間)		1,512				
家族労働時間		875				T
雇用労働時間		637				
損益分岐点売上高						
損益分岐点販売量						

(注1) 基準値は、静岡県農業試験場モデル。

社団法人 中小企業診断協会

(注2) B欄は、診断先の実績を記入する。

(注3) 栽培面積1畝の場合、およそ基準値の10倍の数字になると考えられる。

収益・費用調査表 (3-5)

作目名 ガーベラ

(単位: 本、円、%)

項 目		基準値	H 年	H 年	対比 %	摘 要	
		A. 10%当り	B. 全 体	C. 10%当り	C ÷ A × 100		
粗 収 益	生産量		2,472			ケース(1ケース100 本)	
	販売単価		3,153			ケース当り単価	
	生産額		7,794,216				
	副産物収入		0				
	合 計		7,794,216			①	
経 営 費	変 動 費	直 接	種苗費	696,000	-		半数を植え替え
			肥料費	165,240			堆肥を含む
			農薬費	234,310			
			光熱動力費	746,760			重油、電気代、ガソリン代
			諸材料費	0			
			小農具費	4,000			
			賃料料金	0			
			雇用労費	1,177,250			850円/時間
			水利費	5,000			用水負担金
			その他	0			
			計	3,028,560			
	出 荷 経 費		資材費	486,984			ダンボール箱、ビニール
			運賃	346,080			
			手数料	1,025,048			市場10%、産地・流通35%
			その他	0			
			計	1,858,112			
	小 計		4,886,672			租税公課、農業共済費合計	
	固 定 費		減価償却費	740,621	-		
			成園費・成畜費	0			
			借地料	0			
			修繕費	230,498			
			その他	0			
		小 計		971,119			
成 果	合 計		5,857,791			②	
	農 業 所 得		1,936,425			③ = ① - ②	
	所 得 率		24.8%			③ ÷ ①	
果 労働1時間当り所得		2,401				③ ÷ T (円/時間)	
家族労働見積額		1,451,520					
自己資本利子見積額		212,565					
自己地代見積額		10,000					
生産費(全額参入生産費)		7,531,876				④	
利潤		262,340				⑤ = ① - ④	
利潤率		3.4%				⑤ ÷ ①	
総労働時間(時間)		2,191					
家族労働時間		806				T	
雇用労働時間		1,385					
損益分岐点売上高							
損益分岐点販売量							

(注1) 基準値は、静岡県農業試験場モデル。

社団法人 中小企業診断協会

(注2) B欄は、診断先の実績を記入する。

(注3) 栽培面積1畝の場合、およそ基準値の10倍の数字になると考えられる。

栽培体系モデル・調査表 (4-1)

○モデル例の主要な技術・資本整備

*カーネーション・スタンダード

(1) 主要な技術及び留意点	(2) 資 本 装 備
① 2回摘心栽培 ② ビニールハウス雨当て栽培 ③ 黄色蛍光使用	① 大 農 具 軽トラック・管理機・動力噴霧機・暖房機 ② 建 物 ビニールハウス連棟式5000㎡、作業小屋(植) ③ 構 築 物 灌 水 施 設 自動 5000㎡ 二重被覆装置 自動 5000㎡ 黄 色 蛍 光 灯 5000㎡

◆モデル例の栽培体系 (品種フランススコ、50a、家族2人、臨時女6人)

月旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	
大 輪 施設9～ 5月取り					✕	井	▲			△	□		フランススコ ピンクフラン セスコ
スプレー 施設栽培					✕	井	▲			△	□		ライトピンク バーバラ
主 要 作 業 名 (大 輪)	● 追肥	● 追肥	● 追肥・換気(随時)	● 追肥	● 株土 片付 消毒	● 定植・ ネット 張り	● 摘心 ビニル 除去	● 摘心	● 追肥・摘 蓄(随時)	● 追肥	● ビニル 張り	● 暖房開 始(最低 12℃)	● 追肥

◆診断先の栽培体系

月旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	
主 要 作 業 名 「大 輪」													

資料出所：静岡県農水部原単位

社団法人 中小企業診断協会

栽培体系モデル・調査表 (4-2)

(1) モデル例の主な生産技術と留意点

- ① 連棟式ビニールハウス (5000㎡) 雨当て栽培
- ② 暖房機 1000㎡用 5台 ・黄色蛍光灯 5000㎡利用
- ③ 秋春切り、2回摘心栽培

*カーネーション・スプレー

(2) 資本整備

①大農具 軽トラック 660cc 1台 管理機 5台 動力噴霧器中 1台 暖房機 1000㎡月 5台 計 1,922千円	③構築物 自動灌水施設 5000㎡ 自動二重被覆装置 5000㎡ 黄色蛍光灯 5000㎡ 計 8,695千円 合計 51,617千円
②建 物 ビニールハウス 連棟式 5000㎡ 1棟 作業小屋 木造 1棟 計 41,000千円	※固定資産の現在価 25,808千円(50%減算)

◆モデル例の栽培体系 (50%・ビニールハウス5000㎡1棟、労働力:家族2人雇6人)

月旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	ライトピンク パーバラ
スプレー 施設栽培 (ピーク作)													
主要作業名 (スプレー)	追肥	追肥	換気(随時)			土壌消毒	土壌消毒、定植	追肥、定植、摘心(随時)	ネット張り・摘心	追肥	摘心・ネット張り	摘心・ネット張り	摘心・ネット張り

◆診断先の栽培体系

月旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	
主要作業名													

資料出所：静岡県農水部原単位

社団法人 中小企業診断協会

栽培体系モデル・調査表 (4-3)

(1) モデル例の主な生産技術及び利用上の留意点

*トルコキキョウ

- 「秋出し」「1～3月出し」の留意事項
- ① パイプハウス5000㎡、温風暖房機1000㎡×3台、栽培面積40㎡
 - ② 定植後が高温で短期間に花芽を持ちたがることから、草丈が十分に取れる中生～晩生の品種を利用する必要がある。
 - ③ 定植時期が年間で最も気温が高い時期となるため、育苗中にロゼット化～打破を確実にしておく必要がある。
 - ④ 定植適期は本場2対の時期で、抽苔してからでは活着不良あるいは早期出蕾になり易い。苗の揃いが本圃での揃いに直接つながるため、育苗技術がかぎになる。
 - ⑤ 収穫舞えに本圃で蕾の数を揃えておけば、充実した蕾をつけて出荷できる。
 - ⑥ この作形では無理にボリュームをつける必要はない。

(2) 資本整備

①大農具		②建 物	
温風暖房機	1,000㎡×4	パイプハウス	5000㎡×1
管理機(耕)4.5P	1台	作業ハウス一式	100㎡×1
動力噴霧器(耕)中型	1台	計	15,500円
軽トラック(耕)660cc	1台		
計	3,129円	③構築物	
		防油堤	×1
		燃料タンク 5Kリットル	×1
		計	320円
※固定資産の現在価 9,475 円(50%で計算)……		合計	18,949円

◆モデル例の栽培体系 (40㎡、労働力:家族2人雇5人)

月旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
超促成 11～12月 出荷							○	●	□	■	◆	◆	(20%)
促 成 1～3月			■	■			○	●	□	■	◆	◆	(20%)
半促成加温 植え替え 4～5月 出荷			■	■					○	●	□	■	(20%)
主要作業記号 ○ 播種 ● 定植 □ 暖房入 ■ 暖房切 ◇ 電照入 ◆ 電照切 ◆—◆ 苗冷蔵 □ 収穫													

◆診断先の栽培体系

月旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	
主要作業													

資料出所：静岡県農水部原単位

栽培体系モデル・調査表 (4-4)

(1) モデル例の主な生産技術と留意点

- ① 50a…屋根型硬質フィルムハウス(1000㎡) 5棟
- ② 重油による温風暖房機利用
- ③ 自動灌水装置

*ガーベラ・土耕栽培

(2) 資本整備

① 大農具 温風暖房機 1000㎡×5 トラクター 15ps ×1 キャップ掛機 ×1 冷蔵庫 2坪×1 自動灌水装置 一式 軽トラック 1台 ワゴン車 1台 計 14,333円	② 建物 屋根型硬質フィルム 1000㎡×5棟 内装被覆 1000㎡×5棟 作業場 60㎡×1棟 計 72,000円 ③ 構築物 重油タンク・防油堤 2Kリットル×5 計 250円 合計 86,583円
※固定資産の現在価 43,291円(50%で計算)	

◆モデル例の栽培体系…加温周年栽培(50a・1000㎡×5棟、労働力:兼2人時8人)

月旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	
周年栽培													ビルエット ドール イリュージョン ローラ アルデラン ミノウ
	サルサ マリブ パープルレイン サータキ シャム												
主要作業名	葉欠き	葉欠き	追肥(2年目)	葉欠き	仮植・葉欠き 土壌消毒・酸度矯正 耕うん・深耕	定植・葉欠き	追肥・葉欠き	葉欠き	葉欠き	葉欠き	葉欠き	追肥	葉欠き

◆診断先の栽培体系

月旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	
主要作業名													

資料出所: 静岡県農水部原単位

栽培体系モデル・調査表 (4-5)

(1) モデル例の主な生産技術と留意点

*キク…十耕栽培

- ① 経営としては40aを想定
原単位は、10aの温室を4室保有し、それぞれで3作するという設定
- ② 1作当りの在ほ期間は定植苗の期間で調節し、100日未満とする。
- ③ 作付品種：10～6月 神馬 7～9月 岩の白扇
- ④ 基本的に家族労働で経営

(2) 資本整備

①大農具		②建 物	
温風暖房機	300坪用×4	丸形ハウス	1000㎡×4
無人防除施設	300坪用×4	灌水設備	×4
トラクター	16PS ×1	内部被覆設備	×4
動力噴霧器	中型 ×1	作業舎・倉庫	50㎡×1
トラック	1ト ×1	取得価格 計	8, 213千円
選花機	1台 ×1	否計	18, 162千円
冷蔵庫	2坪 ×1		
パソコン	×1		
液肥混入機	×1		
取得価格 計	9, 950千円	※固定資産の現在価	50% で試算

◆モデル例の栽培体系 (40畝・1000㎡×4棟、労働力、家族2人臨時3人)

過 栽培型	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
施設ギク 周年栽培 ノーピンチ 1本仕立て	☼ 夜間4～5時間の光中断による長日処理 ⬛ シェードによる12時間日長の短日処理 ■ 📏 最低温度15℃の加温															

定植月日→収穫はじめ→終了月日

ハウス1

8/30→12/3→15 無摘心 神馬
12/30→4/9→19 無摘心 神馬
4/30→8/5→15 無摘心 岩の白馬

ハウス 2

9/30→ 1/3→15 無摘心 神馬
1/30→ 5/9→19 無摘心 神馬
5/30→ 9/5→15 無摘心 岩の白馬

ハウス 3

10/30→ 2/3→15	無摘心	神馬
2/28→ 6/9→19	無摘心	神馬
6/30→10/5→15	無摘心	神馬

ハウス4

11/30→3/3→15	無摘心	神馬
3/30→7/9→19	無摘心	岩の白扇
7/30→11/5→15	無摘心	神馬

資料出所：静岡県農水部原単位

社団法人 中小企業診断協会

農業経営診断予備調査表 (5)

〈花き作〉

栽培品目 ()

販売戦略の課題		(該当に○印)
(1) 外部環境変化に対応する販売戦略・方針	有 () 無	
(2) 新品種の開発育種・消費者へ情報発信で販売戦略	有 () 無	
(3) 商品の差別化推進の取り組み	有 () 無	
(4) 消費者へのPR (飾り方・家庭栽培法・利用法等)	有 () 無	
(5) 消費者・小売店に対する商品情報の積極的提案	有 () 無	
(6) 市場外流通の促進強化	有 () 無	
(7) 卸売業・小売業者との情報交流を行っている	有 () 無	
(8) 消費者ニーズや苦情を収集し、積極的に改善対応	有 () 無	
(9) 生産・流通体制 (規格トレイ・空調コンテナ・バケット利用等)	有 () 無	
(10) 品質管理マニュアル・出荷規定に基づく日持ち確保の出荷	有 () 無	
(11) 生産のコストダウンを推進し、同品質の価格競争に対応	有 () 無	
(12) その他の対策 ()	有 () 無	

経営の外部対策	(該当に○印)
(1) 資材購買対策	(ア) 積極的に実施 (イ) 普通 (ウ) 無い
(2) 消費者・需要者対策	(ア) 積極的に実施 (イ) 普通 (ウ) 無い
(3) 小売店・卸売業・市場対策	(ア) 積極的に実施 (イ) 普通 (ウ) 無い
(4) 競争相手対策	(ア) 積極的に実施 (イ) 普通 (ウ) 無い

経営の内部対策	(該当に○印)
(1) 経営規模の拡大	(ア) 現状維持 (イ) 拡大化
(2) 生産品目・品種の再検討	(ア) する (イ) しない
(3) 栽培管理技術の見直し (安心・安全・導入新技術)	(ア) する (イ) しない
(4) 作業改善・省力化機械の導入 (労働 1,800時間の対応)	(ア) する (イ) しない
(5) 観光農園・直売所の開設による花・ハーブに対する関心の醸成	(ア) 開設する (イ) しない
(6) 加工品の開発・販売による花・ハーブの文化・健康の促進	(ア) 開発・販売 (イ) しない
(7) 労務管理の改善	(ア) する (イ) しない

農業経営者認定目標調査表 (6-1)

栽培作物目()

1. 経営理念							
2. 経営の特色							
3. 経営改善計画の達成状況							
項 目	A. 第一回認定時 (H 年 月)	B. 第 回現在 (H 年 月)		B/A 達成時			
(1) 営農類型	花き (露地・施設)						
(2) 経営改善の内容							
4. 農業経営規模拡大と達成率							
作目 ・ 部門	①作付面積(a)	生産量(b)	②作付面積(a)	生産量(b)	③/① 作付面積	③/① 生産量	
5. 収益性の目標と達成率							
収入・所得・利益 収 入 所 得 (専給含む) 所 得 (専給除く)	H 年認定時 冊	5年後の目標 冊	認定時(H 年) 冊	5年後の目標 %	H 年現状 冊	目標達成率 %	
売上高 営業利益 経常利益							

社団法人 中小企業診断協会

農業経営者認定目標調査表 (6-2)

栽培作目 ()

6. その他付帯事業等			
付帯事業の内容	認定時の状況	取り組事業 内容・状況	達成状況の課題
第1回 (H 年)			
第2回 (H 年)			
第3回 (H 年)			
7. 生産施設の合理化状況 (施設・機械等)			
項 目	第1回認定時 (H 年)	現在の状況 (H 年)	実施後の課題
面積 ・ 棟数 機 械 設 備			
8. 作目別生産方式の合理化			
作 目 名	第1回認定時 (H 年)	計画の現状 (H 年)	現状の改善課題
(1)			
(2)			
(3)			
(4)			
花き以外の作目			

社団法人 中小企業診断協会

農業経営者認定目標調査表 (6-3)

栽培作物()

9. 農業従事者の労務等目標と現状

項 目	第1回認定時(H 年)	現 状 (H 年)	● 将来目標コメント
年間実務日数	本人 日 家族 人 日 常時雇用者 人 日 臨時雇用者 人 日 実習生 人 日	日 人 日 人 日 人 日 人 日	
年間労働時間	本人 時間 家族 時間 常時雇用者 時間 臨時雇用者 時間 実習生 時間	時間 時間 時間 時間 時間	
①各種作業の有無 ②労働条件通知書 ③雇用契約書 ④国民健康保険 ⑤農業者年金 ⑥労災保険 ⑦雇用保険 ⑧小規模共済保険 ⑨家族協定書 ⑩福利厚生施策の状況	有 無 有 無 加 入 ・ 未加入 加 入 ・ 未加入 (5人以上)加入 ・ 未加入 (5人以上)加入 ・ 未加入 有 無 有 無	有 無 有 無 加 入 ・ 未加入 加 入 ・ 未加入 加 入 ・ 未加入	

10. 経営管理の合理化目標と現状

項 目	第1回認定時(H 年)	現 状 (H 年)	● 将来目標コメント
①青色申告書 ②単式簿記の記帳 ③複式簿記の記帳 ④パソコン簿記記帳 ⑤パソコン活用分野 ⑥サイクル管理の実施 (PDCAサイクル) ⑦その他の取組み課題	有 無 有 無 有 無 有 無 作業記録・各種データ管理 作業記録・各種データ管理	有 無 有 無 有 無 有 無 作業記録・各種データ管理 作業記録・各種データ管理	
今後の取組み課題			

社団法人 中小企業診断協会

経営分析表 (7-1)

〔露地花き作経営〕

部門	No	項目	判定	単位	全国平均 (H16) A	県平均 B	H 年 C	H 年 D	D/A・B	備考
農業 収 支	1	農業租収益	大	千円	6,404					
	2	農業経営費	小	千円	3,333					
	3	農業所得	大	千円	3,077					
分析 指 標	4	農業所得率	大	%	48.1					
	5	付加価値額	大	千円	3,571					
	6	付加価値率	大	%	55.3					
	7	農業固定資産 装 備 率	大	円	891					
収 益 性	8	農業経営関与者 1人当り農業所得	大	千円	1,295					
	9	農業経営関与者 1人当り総所得	大	千円	2,395					
	10	農業専従者 1人当り農業所得	大	千円	2,005					
	11	家族農業労働 1時間当たり所得	大	円	837					
	12	農業固定資産 千円当たり所得	大	円	831					
	13	花き作 作付延べ面積 10a当たり所得	大	千円	374					
生 産 性	14	自営農業労働 1時間当たり	大	円	850					
	15	農業固定資産 千円当たり	大	円	955					
	16	花き作 作付延べ面積 10a当たり	大	円	430					
経 営 概 況	17	月平均農業経営 関与者数	—	人	2.40					
	18	経営耕地面積	—	a	166					
	19	自営農業労働時間	小	時間	4,201					
	20	家族労働時間(ゆい含む)								

※ 全国平均値は農水省H16年度統計による。

社団法人 中 小 企 業 診 断 協 会

経営分析表 (7-2)

〈花き作経営全体〉

部門	No	項目	判定	単位	全国平均 (H16) A	県平均 B	H 年 C	H 年 D	D/A・B	備考
農業収支	1	農業粗収益	大	千円	10,074					
	2	農業経営費	小	千円	6,236					
	3	農業所得	大	千円	3,838					
分析指標	4	農業所得率	大	%	38.4					
	5	付加価値額	大	千円	4,693					
	6	付加価値率	大	%	46.1					
	7	農業固定資産 装備率	大	円	1,501					
収益性	8	農業経営・関与者 1人当り農業所得	大	千円	1,524					
	9	農業経営関与者 1人当り総所得	大	千円	2,443					
	10	農業専従者 1人当り農業所得	大	千円	2,129					
	11	家族農業労働 1時間当り所得	大	円	883					
	12	農業固定資産 千円当り所得	大	円	498					
	13	花き作 作付延べ面積 10a当り所得	大	千円	653					
生産性	14	自営農業労働 1時間当り	大	円	896					
	15	農業固定資産 千円当り	大	円	597					
	16	花き作 作付延べ面積 10a当り	大	円	782					
経営概況	17	月平均農業経営 関与者数	-	人	2.57					
	18	経営耕地面積	-	a	152					
	19	自営農業労働時間	小	時間	5,239					
	20	家族労働時間(ゆい含む)								

※ 全国平均値は農水省H16年度統計による。

社団法人 中小企業診断協会

経営分析表 (7-3)

〈施設花き作経営〉

部門	No	項 目	判定	単位	全国平均 (H16) A	県平均 B	H 年 C	H 年 D	D/A・B	備考
農業収支	1	農業租収益	大	千円	12,249					
	2	農業経営費	小	千円	7,951					
	3	農業所得	大	千円	4,298					
分析指標	4	農業所得率	大	%	35.5					
	5	付加価値額	大	千円	5,362					
	6	付加価値率	大	%	43.2					
	7	農業固定資産 装 備 率	大	円	1,761					
収益性	8	農業経営関与者 1人当り農業所得	大	千円	1,643					
	9	農業経営関与者 1人当り総所得	大	千円	2,462					
	10	農業専従者 1人当り農業所得	大	千円	2,202					
	11	家族農業労働 1時間当たり所得	大	円	906					
	12	農業固定資産 千円当たり所得	大	円	428					
	13	花き作 作付延べ面積 10a当たり所得	大	千円	937					
生産性	14	自営農業労働 1時間当たり	大	円	917					
	15	農業固定資産 千円当たり	大	円	521					
	16	花き作 作付延べ面積 10a当たり	大	円	1,141					
経営概況	17	月平均農業経営 関与者数	—	人	2.68					
	18	経営耕地面積	—	a	143					
	19	自営農業労働時間	小	時間	5,848					
	20	家族労働時間(ゆい含む)								

※ 全国平均値は農水省H16年度統計による。

社団法人 中小企業診断協会

經營分析比較表(8-1)

(法人)

部門	No.	項目	算出方法	平成	年度	平成	年度	経営指標		備考
				自	至	自	至	年版	年版	
収益性	1	経営資本対営業利益	営業利益÷経営資本×100		%		%			
	2	総資本回転率	純売上高÷総資本×100		%		%			
	3	売上高対売上総利益	売上総利益÷売上高×100		%		%			
	4	売上高対経常利益率	経常利益÷売上高×100		%		%			
	5	総資本対経常利益率	経常利益÷総資本×100		%		%			
財務安全性	6	自己資本比率	自己資本÷総資本×100		%		%			
	7	負債比率	他人資本÷自己資本×100		%		%			
	8	売上高対支払利息率	支払利息÷売上高×100		%		%			
	9	販売管理費率	販売管理費÷売上高×100		%		%			
	10	固定長期適合率	固定資産÷(総資本×100)		%		%			
	11	流動比率	流動資産÷流動負債×100		%		%			
	12	固定比率	固定資産÷自己資本×100		%		%			
生産性	13	総資本投資効率	付加価値÷総資本×100		%		%			
	14	設備投資効率	付加価値÷有形固定資産×100		%		%			
	15	労働分配率	人件費÷付加価値×100		%		%			
	16	労働設備率	有形固定資産÷従業員数		円		円			
	17	付加価値率	付加価値÷売上高×100		%		%			
	18	従業員1人当り売上高	売上高÷従業員数		円		円			

社団法人 中小企業診断協会

経営分析比較表(8-2)

(法人)

部門	No	項目	算出方法	平成 自至	年度 ／	平成 自至	年度 ／	経営指標		備考
								年版	年版	
成長性	19	売上高前年対比増加率	今期売上高÷前期売上高×100		%		%			
	20	経常利益前年対比増加率	今期経常利益÷前期経常利益×100		%		%			
	21	総資産前年対比増加率	今期総資産÷前期総資産×100		%		%			
労働生産性	22	従業員1人当り年間租収入	租収入÷従業員		円		円			
	23	8時間当り租収入	租収入÷労働時間		円		円			
	24	1日当り労務費	労務費÷労働日数		円		円			
	25	機械投資効率	売上高÷設備資産		%		%			
	26	10a当り従業員労務費	労務費÷作付面積(10a)		円		円			
土地生産性	27	10a当り租収入	租収入÷作付面積(10a)		円		円			
	28	10a当たり収量(水稻)	生産量÷作付面積(10a)		kg		kg			
	29	10a当り収量(大豆)	生産量÷作付面積(10a)		kg		kg			
損益分岐点分析	30	変動比率	変動費÷売上高×100		%		%			
	31	固定比率	固定費÷売上高×100		%		%			
	32	限界利益率	(1-変動費率)×100		%		%			
	33	損益分岐点売上高	固定費÷限界利益率		円		円			
	34	損益分岐点比率	損益分岐点÷実際の売上高		%		%			
	35	専従者給与(500)万円目標	(500)万円の固定費÷限界利益率		円		円			

社団法人 中小企業診断協会

財務諸表による組合生産法人の評価表 (8-3)

区分	評価項目	実施地	ウェイト	評価尺度					評価点
				10	8	6	4	2	
(1)	①売上高経常利益率 〔年間経常利益/年間売上高×100〕		1.0	8%以上	6%以上	4%以上	2%以上	2%未満	
	②経営資本回転率 〔年間売上高/経営資本〕		1.0	2.2回以上	1.8回以上	1.4回以上	1.0回以上	1.0回未満	
	③売上高総利益率 〔年間総利益/年間売上高×100〕		0.5	40%以上	30%以上	20%以上	10%以上	10%未満	
	④実質金利負担率 〔(支払利息割引料-受取利息)/売上高×100〕		0.5	1.5%未満	1.5%以上	2.0%以上	2.5%以上	3.0%未満	
	⑤在庫回転率(回/年) 〔年間売上高/平均在庫〕		0.5	16回以上	13回以上	8回以上	5回以上	5回未満	
	計		3.5	A=28点以上 B=18点以上 C=18点未満					()
(2)	①自己資本比率 〔自己資本/経営資本×100〕		1.0	40%以上	30%以上	25%以上	15%以上	15%未満	
	②流動比率 〔流動資産/流動負債×100〕		1.0	190%以上	160%以上	130%以上	100%以上	100%未満	
	③当座比率 〔当座資産/流動負債×100〕		0.4	140%以上	120%以上	100%以上	80%以上	80%未満	
	④固定長期適合率 〔固定資産/(自己資本+長期負債)×100〕		0.8	60%未満	60%以上	80%以上	100%以上	120%未満	
	⑤自己資本固定資産比率 〔固定資産/自己資本×100〕		0.3	100%未満	100%以上	130%以上	160%以上	190%未満	
	計		3.5	A=28点以上 B=18点以上 C=18点未満					()
(3)	①1人当り生産高(年) 〔年間生産高/平均総人員数〕		0.4	2800万円以上	2200万円以上	1800万円以上	1200万円以上	1200万円未満	
	②1人当り加工高(年) 〔年間加工高/平均総人員数〕		0.4	1100万円以上	800万円以上	700万円以上	600万円以上	600万円未満	
	③加工高比率 〔加工高/年間生産高×100〕		0.5	80%以上	60%以上	40%以上	20%以上	20%未満	
	④労働の生産性 〔加工高/総人件費×100〕		0.4	300%以上	250%以上	200%以上	150%以上	150%未満	
	⑤機械設備効率 〔年間加工高/機械設備資産〕		0.3	5.0回以上	3.0回以上	2.5回以上	2.0回以上	2.0回未満	
	計		2.0	A=16点以上 B=10点以上 C=10点未満					()
(4)	①売上高増長率 〔当期売上高/前期売上高×100〕		0.1	110%以上	105%以上	100%以上	95%以上	95%未満	
	②加工高増長率 〔当期経常利益/前期経常利益×100〕		0.1	115%以上	110%以上	105%以上	100%以上	100%未満	
	③経常利益増長率 〔当期経常利益/前期経常利益×100〕		0.3	120%以上	115%以上	110%以上	105%以上	105%未満	
	④労働の生産性増長率 〔当期労働生産性/前期労働生産性×100〕		0.2	120%以上	115%以上	110%以上	105%以上	105%未満	
	⑤自己資本増長率 〔当期自己資本/前期自己資本×100〕		0.3	115%以上	110%以上	105%以上	100%以上	100%未満	
	計		1.0	A=8点以上 B=5点以上 C=5点未満					()
財務分析合計			10.0	A=80点以上 B=51点以上 C=51点未満					

社団法人 中小企業診断協会

SWOT分析調査表 (9-1)

認定農業者名 _____

〈経営の理念・コンセプト・特徴〉

①理 念 ②経営コンセプト ③独自性・特徴 ④GAP導入計画	
---	--

〈S W O T 分 析〉

現状の強み ①経営基本 ②生 産 ③販 売 ④労 務 ⑤財 務	
現状の弱み ①経営基本 ②生 産 ③販 売 ④労 務 ⑤財 務	
脅 威 ①花き需要の変化 ②競合による低価格化	
機 会 ①花き消費の多様化 ②育てる園芸需要 ③健康志向化	

社団法人 中小企業診断協会

農業経営SWOT分析表 (9-2)

診断企業名

診断報告日

SWOT分析と課題

作成者名

①外部環境(外部環境の機会と脅威)分析

	機会 Opportunity	脅威 Threat
立地		
競合性		
消費者志向		

②内部(内部の強みと弱み)分析

		強み Strength		弱み Weakness	
		量	質	量	質
力 ネ	キャッシュ フロー				
	自己資本 比率				
	不動産				
モ ノ	栽培地 (生産・品 揃え)				
		強み Strength		弱み Weakness	
		量	質	量	質
ヒ ト	生産				
	労務				
	店舗				
情 報	什器 活用力				
	生産				
	販売				

社団法人 中小企業診断協会

損益分岐点分析－花き

収益・費用調査表の損益分岐点売上高・販売量の試算（10a 当り）

ここでは農業所得を除いた場合の試算である。従って農業所得（10a 当り）を含めた損益分岐点売上高と販売量は、収益・費用調査表に記載の生産額（販売額）及び生産量（販売量）の通りである。キク調査表（P）と栽培体系調査表（P）を参照

花き「キク」の損益分岐点を試算（10a 当り）

農業所得は 1,900,385円（40a栽培、家族2人・パート6人経営の10a当りの所得である）
同調査票は、40a栽培のモデル指標であるので農業所得は 760万円である。

$$1. \text{ 農業所得を除いた損益分岐点売上高} = \frac{\text{固定費}}{1 - \frac{\text{変動費}}{\text{売上高}}}$$

$$= 783,800 \div \left(1 - \frac{5,631,815}{8,316,000} \right)$$

$$= 783,800 \div (1 - 0.6773)$$

$$= 783,800 \div 0.3227$$

$$= \underline{2,428,881 \text{ 円}}$$

$$2. \text{ 農業所得を損益分岐点売上高販売量} = \frac{\text{固定費}}{\text{販売単価} - \frac{\text{変動費}}{\text{販売量}}}$$

$$= 783,800 \div \left(7 - \frac{5,631,815}{108,000} \right)$$

$$= 783,800 \div (77 - 52.15)$$

$$= 783,800 \div 24.85$$

$$= \underline{31.541 \text{ 本}}$$

3. 対 策

損益分岐点に影響するプラス効果の対策には次のことがある。

①単位当りの生産量を増やす→生産技術の合理化

②販売単価を高める

- └ 高品質の生産
- └ 新品種の開発
- └ 品質管理と出荷輸送
- └ 市場外流通の展開

③コストダウンに徹する

- └ 直接生産費の項目別見直し
- └ 出荷経費・ルートの見直し

1. 農業経営診断予備調査書(1-1)

土耕栽培(ハウ) (平成 年 月 日現在)
個人経営の場合

診断希望事項				
1. 経営の概要	経営の形態 個人経営 ①認定農業者 ②エコファーマー		資本金 千円	
	名称		従業員数	男 人 女 人
	e-mail		常雇	男 人 女 人
	HP		パート(8時間)	男 人 女 人
	所在地	〒 TEL	計	男 人 女 人
	代表者名	(年齢)	作業時間	①1日あたり平均 時間
	営業年数	年(営農年数) 年	②年間 時間	
	決算日	月 日	休日数	①月間 日 ②年間 日
	集団栽培	① 有り ② 無し	後継者	①有り ②未定 ③無し
	経営の業態 ①単一経営 ②複合経営()		(5)施設栽培の課題(○印、コメントを記入)	
①認定②エコファーマーの時期 ① 年 月 ② 年 月		①施設の老朽化		
2. 生産部門	(1)耕種	①稲作 ②麦作 ③雑穀作 ④豆類作 ⑤イモ類作 ⑥飼料作 ⑦工芸作物作() ⑧果樹作() ⑨露地野菜作() ⑩露地花き作() ⑪施設野菜作() ⑫施設花き作() ⑬施設果物作() ⑭その他()	②規模拡大に障害()	
	(2)畜産	①酪農 ②養豚 ③肉用牛 ④養鶏 ⑤養蜂 ⑥その他	③品種の選択	
	(3)養蚕	①養蚕	④施設管理技術(温度・光線)	
	(4)加工	①農産物加工(品名) ②畜産物加工(品名) ③林産加工(品名)	⑤土壌管理	
			⑥かん水管理	
			⑦施肥管理	
			⑧改植技術	
			⑨品質レベルの統一(ハウス毎の品質管理)	
			⑩病害虫対策	
			⑪労働時間・作業様式	
3. 農業経営の現状と計画	(1)作目・部門名	作物面積・飼養頭数・生産量	売上構成	(5)農業経営の特徴
	①	ha, トン	%	
	①	ha, トン	%	
	①	ha, トン	%	
	①	ha, トン	%	
	経営面積合計 ha		トン	
	(2)経営耕地			
	①所有地 畑・水田・施設栽培地・他	ha		
	②借入地 畑・水田・施設栽培地・他	ha		
	(3)作業受委託	作業内容	面積等	
委託・受託		ha		
委託・受託		ha		
委託・受託		ha		
(4)栽培施設の現状				
(種類) ガラス ビニール プラスティック 他				
フェンロー型	棟	棟	棟	棟
両屋根型	棟	棟	棟	棟
鉄骨補強	棟	棟	棟	棟
パイプハウ	棟	棟	棟	棟
地中押込	棟	棟	棟	棟
式パイプハ	棟	棟	棟	棟
ウス	棟	棟	棟	棟
他	棟	棟	棟	棟
他	棟	棟	棟	棟
(6)作業記録・日誌の有無(有りに○印)				
①防除日誌(農薬名、散布量、倍数、散布日等)				
②施肥日誌(肥料名、使用量、使用日等)				
③作業日誌				
(7)家族協定書の(有 無)				
(8)常雇・パート就業規則の(有 無)				
①労働条件通知書(有 無)				
②雇用契約書(有 無)				
③労災保険(従業者5人以上、5人以下)(有 無)				
④雇用保険(従業者5人以上、5人以下)(有 無)				
4. 生産方式	◆方式		◆生産方式の課題点	
	①土耕式(ハウス) (・ベッド栽培・その他)		①投資コストと経済性 採算性(・高・中・低)	
	②溶液栽培(土耕・ロックワール・その他)		②労力負担 (・低・中・高)	
	③アーチング法・ベンチ方式・隔離培地方式・その他		③方式変更予定 (・有・無)	
	④養液土耕式		何から何へ()	
⑤全農式ベンチ(くみあいスーパードレンベッド)		理由()		

		土耕栽培(バラ)		平成 年 月 日現在)																							
5. 販売関係の現状と方針	(1)消費者ニーズ把握 ①している ②していない																										
	(2)対象とする客層を ①決めている ②決めていない																										
	(3)直販の場合の顧客名簿 ①有り ②無し																										
	(4)販売計画 ①有り ②無し																										
	(5)計画の達成度 ①高い ②普通 ③低い																										
	(6)達成度低い時の理由																										
	(7)代金 ①農協経由 % ②現金 % ③その他 %																										
	(8)販売上の問題点																										
	(9)今後の販売方針・戦略の課題																										
	(10)品種別生産量・販売量	<table border="1"> <thead> <tr> <th>生産品種</th> <th>生産量(本、%)</th> <th>販売額(千円、%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>本 %</td> <td>千円 %</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>本 100%</td> <td>千円 100%</td> </tr> </tbody> </table>				生産品種	生産量(本、%)	販売額(千円、%)	①	本 %	千円 %	②			③			④			⑤			計	本 100%	千円 100%	
	生産品種	生産量(本、%)	販売額(千円、%)																								
	①	本 %	千円 %																								
②																											
③																											
④																											
⑤																											
計	本 100%	千円 100%																									
6. 財務会計	(1)複式簿記 ①使用 ②使用しない パソコン活用 ①有り ②無し																										
	(2)借入金の内訳																										
	①農林中金・農林漁業公庫 スーパーL資金 千円 スーパーS資金 千円 経営体育成強化資金 千円 ②JAバンク・銀行・金庫 農業近代化資金 千円 合計 千円																										
	(3)利益計画 ①有り ②無し																										
	(4)計画達成 ①した ②しない																										
	(5)資金繰り表 ①有り ②無し																										
	(6)資金管理 円/㎡ ①支払い利息 円/㎡ ②農業所得(法人は経常利益) 円/㎡ ③借入金残高 円/㎡ ④年間償還額 円/㎡ ⑤年間家計費(法人は無し) 円/㎡																										
	(7)収入・所得・利益																										
7. 人事・労務関係	(1)人手 ①十分 ②普通 ③不足																										
	(2)家族協定書 ①有り ②無し																										
	(3)就業規則 ①有り ②無し																										
	(4)給与規定 ①有り ②無し																										
	(5)退職規定 ①有り ②無し																										
	(6)健康保険 ①有り ②無し																										
	(7)厚生年金保険 ①有り ②無し																										
	(8)慰安旅行 ①有り ②無し																										
	(9)労災保険 ①有り ②無し																										
	(10)労働保険 ①有り ②無し																										
	(11)経営組織図																										
	8. 各種マニュアル整備	①施設内環境整備マニュアル ①有り ②無し 光、温度など																									
②栽培管理用機器操作マニュアル ①有り ②無し 防除、灌水、収穫など																											
③方式別栽培マニュアル ①有り ②無し																											
④IT操作活用マニュアル ①有り ②無し																											
	⑤作業マニュアル ①有り ②無し																										
	⑥養水管理目安 ①有り ②無し (生育ステージ別水・窒素・リン酸・加量等)																										
	9. 経営上の課題点	<table border="1"> <thead> <tr> <th>外国人の雇用 ①有り ②無し</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>□(1)従業者の高齢化</td> <td>□(11)後継者難</td> </tr> <tr> <td>□(2)従業者の確保難</td> <td>□(12)施設コストの増加</td> </tr> <tr> <td>□(3)生産方式の改善難</td> <td>□(13)軽労化困難</td> </tr> <tr> <td>□(4)生産効率の低下</td> <td>□(14)IT化の進展困難</td> </tr> <tr> <td>□(5)生産コストの増加</td> <td>□(15)経営規模拡大困難</td> </tr> <tr> <td>□(6)作業システムの不備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>□(7)販売高の低下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>□(8)利益率の低下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>□(9)無減農薬の対応</td> <td></td> </tr> <tr> <td>□(10)施肥技術</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				外国人の雇用 ①有り ②無し		□(1)従業者の高齢化	□(11)後継者難	□(2)従業者の確保難	□(12)施設コストの増加	□(3)生産方式の改善難	□(13)軽労化困難	□(4)生産効率の低下	□(14)IT化の進展困難	□(5)生産コストの増加	□(15)経営規模拡大困難	□(6)作業システムの不備		□(7)販売高の低下		□(8)利益率の低下		□(9)無減農薬の対応		□(10)施肥技術	
	外国人の雇用 ①有り ②無し																										
□(1)従業者の高齢化	□(11)後継者難																										
□(2)従業者の確保難	□(12)施設コストの増加																										
□(3)生産方式の改善難	□(13)軽労化困難																										
□(4)生産効率の低下	□(14)IT化の進展困難																										
□(5)生産コストの増加	□(15)経営規模拡大困難																										
□(6)作業システムの不備																											
□(7)販売高の低下																											
□(8)利益率の低下																											
□(9)無減農薬の対応																											
□(10)施肥技術																											

2. 診断調査表(2-1)

土耕栽培(バラ)

1. 農業経営の沿革										
(1)経営規模の推移と内容										
(2)栽培方式の転換などの経過										
(3)現在の経営規模と生産方式										
(4)現在の経営の特色										
2. 農業コンセプト(○印をつける)										
(1)消費者の満足を基本にして栽培している。 ①いる ②いない										
(2)販売先・消費対象客を定めて栽培している。 ①いる ②いない ③一部は契約栽培している										
(3)無・減農薬・有機栽培している。 ①いる ②いない ③一部はしている										
(4)省力化・機械化を導入して効率化を図っている。 ①いる ②いない ③まだ不十分										
(5)ISO 14001・9001・22000の導入 ①している ②していない										
3. 作目・品種部門の内容										
記入欄	作目	種目	品種	作型	施設種類	面積(㎡)	栽培方式	無農薬	減農薬	有機栽培
4. 施設・栽培方式の経緯										
作目	年度				(	5. 栽培変更計画中の作目・品種は				
	平成 年	～	～	～	～	その特徴は				
	平成 年	～	～	～	～					
	平成 年	～	～	～	～					
	平成 年	～	～	～	～					
	平成 年	～	～	～	～					
	平成 年横成比	%	%	%	%	その栽培時期は				
	品種名									
作目	年度					5. 栽培変更計画中の作目・品種は				
	平成 年	～	～	～	～	その美しさは				
	平成 年	～	～	～	～					
	平成 年	～	～	～	～					
	平成 年	～	～	～	～					
	平成 年	～	～	～	～					
	平成 年横成比	%	%	%	%	その成長の度合い、収穫数は				
	品種名									
作目	年度					備考欄				
	平成 年	～	～	～	～					
	平成 年	～	～	～	～					
	平成 年	～	～	～	～					
	平成 年	～	～	～	～					
	平成 年	～	～	～	～					
	平成 年横成比	%	%	%	%					
	品種名									
6. 収穫方法										
7. 作目・品種・立地条件などの問題点										

2. 診断調査表(2-2)

土耕栽培(バラ)

8. 販売・受注状況・販売活動の特色(消費者交流など)				
作物名	品質	販売先例示	販売先	受注(契約栽培など)
	品質 優 品質 良 品質 並 品質 悪	インターネット宅配 10% コンビニ50%、ホテル50% JA100%、葬祭式場50% フラワーショップ100%		
	品質 優 品質 良 品質 並 品質 悪	インターネット宅配 10% コンビニ50%、ホテル50% JA100%、葬祭式場50% フラワーショップ100%		
	品質 優 品質 良 品質 並 品質 悪	インターネット宅配 10% コンビニ50%、ホテル50% JA100%、葬祭式場50% フラワーショップ100%		

9. 機械・設備の状況と作業受委託の状況				
(1)①トラクター (台)PS	②トラック	台	③パイプハウス	m(m× m)
④ヒートポンプ kw× 台	⑤換気扇	台	⑥ポンプ kw× 台	
⑦				
⑧				
(2)作業受託				
(3)作業委託				
(4)その他設備(貯蔵庫など)				

10. 生産・技術・設備状況(特色は、)					
	創業時点	2年前	1年前	現在	備考
(1)作付面積の変化	()	()	()	()	※()は借地面積
(2)作業受託	()	()	()	()	※()は件数
(3)作業委託	()	()	()	()	※()は件数
(4)雇用人数	人()	人()	人()	人()	※()は女性数
(5)機械の導入	()	()	()	()	
(6)	()	()	()	()	

11. 花き施設栽培・作業技術について			
(1)バラ施設栽培・作業技術の先進事例の観察・研究の有無	①有	②無	③検討中()
(2)バラ施設栽培・作業技術の体系の有無	①有	②無	③検討中()
(3)バラ施設栽培(様式別)の収量と労働時間の基準	①有	②無	③検討中()
(4)バラ施設栽培の栽培費用・労働時間・収量基準	①有	②無	③検討中()
(5)農業試験場などによる奨励品種の検討	①有	②無	③検討中()
(6)その他栽培方式・作業技術の再検討	①有	②無	③検討中()

12. 労働環境の改善等実施状況				
下記の実施程度に○印をつけてください				
①労働時間の短縮・合理化	◎	○	△	×
②担い手確保や後継者育成	◎	○	△	×
③従業者への技術指導・研修	◎	○	△	×
④従業者の作業位置の適正化	◎	○	△	×
⑤雇用者の労働報酬の決め方	◎	○	△	×
⑥雇用確保の方法	◎	○	△	×
⑦報酬・退職金等の条件整備	◎	○	△	×
⑧福利厚生制度の整備	◎	○	△	×
⑨作業管理と安全性管理	◎	○	△	×

その他労務上の問題点

2. 診断調査表(2-3)

土耕栽培(バラ)

13. 立地条件について			
①周囲に高い建物、木立がなく日当たり、通風が良い	◎	○	△ ×
②排水が良い。(水田埋立地や地下水位の高い所)	◎	○	△ ×
③良質の水が得られる。	◎	○	△ ×
④通路の広さが充分ある。	◎	○	△ ×
14. 温度管理について			
①目標夜温(加温により維持する最低夜温)			
品種	()	()	()
目標夜温	()	()	()
②温度要求の似かよった品種をまとめて植えているか はい いいえ(理由:)			
15. 土作りにについて			
①暗きょ排水施設の有無 有(簡易ドレンタイルベッド、ベンチ方式、その他: 無			
②深耕度合い 深さ() m)			
③土壌改良資材の種類と量			
A. ピートと熟成牛ふんたい肥の混合	1:1		
B. ピートと熟成木質廃材たい肥と熟成牛ふんたい肥の混合	1:1:1		
C. その他			
16. かん水管理について			
①かん水の基準は			
A. テンシオメーターによる測定結果でかん水点を設定			
B. 経験的目安でかん水			
真夏()	日に1回)	春先・秋口()	日に1回) 真冬()
日に1回)	年間()	回)	
②かん水方法は			
A. ホースによる手かん水	投資額()	万円)	
B. チューブかん水、孔あきパイプかん水	投資額()	万円)	
C. パイプ・ノズルかん水	投資額()	万円)	
D. 自走式かん水(防除・かん水等多目的装置)	投資額()	万円)	
E. 点滴かん水(ドリッピングイリゲーション)	投資額()	万円)	
F. 地中点滴(地中給水)法	投資額()	万円)	
17. 施肥管理について			
①土壌検定のための抽出法			
A. 乾土重量抽出法			
B. 生土重量抽出法			
C. その他()			
②施肥肥料の種類			
A. 有機質肥料()	+速効性化成肥料型()		
B. 緩効性化成肥料()	+速効性化成肥料型()		
C. 緩効性肥料()	+液肥型()		
D. その他			
③施肥量			
A. 年間施肥量 N()	kg)、P ₂ O ₅ ()	kg)、K ₂ O()	kg)/330m ²
C. 上記年間施肥回数			
18. 改植技術について			
①改植の理由			
a. 生産力低下	b. 新品種導入、品種更新	c. 価格向上	d. 手がかかる
e. 根頭がんしゅ病	f. うどんこ病、ブライント対策	g. その他()	
②改植の時期 月～ 月			
③改植時の土壌消毒法			
A. 化学薬品による消毒 使用薬品()			
B. 蒸気消毒	a. 高温蒸気	b. 空気混合蒸気	c. 専用蒸気消毒機
C. 太陽熱利用消毒			
D. 温湯散水消毒			
E. 温湯管地中埋設消毒			
F. その他()			
④改植の問題点			
19. 病害虫対策について			
①主要病害とその対策			
病害名()	対策()		
病害名()	対策()		
②主要害虫とその対策			
害虫名()	対策()		
害虫名()	対策()		

3. 診断調査表

1. バラ栽培体系(モデル例)(栽培面積0.5ha、労働力5人/家族2人・雇用3人)

1. ハウス栽培体系(モザイク例) (栽培面積0.5ha、労働力5人/家族2人・雇用3人)													
月旬		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
栽培型		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
第1年次													
主要作業名				育苗管理	定植準備 元肥・支柱立て	切接苗定植	摘蕾／随時	除草 追肥・摘心	除草 追肥・摘心／随時	誘引 追肥	最終摘心	収穫始め・暖房準備	追肥・加温開始
第2年次以降													
主要作業名		追肥		追肥	加温停止・二重被覆除去			夏季せん定 追肥	摘心／随時	摘心	追肥	収穫始め 暖房準備	追肥・加温開始 二重被覆
		△移植 ◎定植 ♧せん定				収穫始め～終り ☆暖房 ★暖房終り Ω二重被覆始め Ψ二重被覆終り							
作型		土耕切り上げ			品種名		ローテローゼ(一輪)						

主要な技術及び留意点

4月定植。6月中旬～7月上旬剪定。冬切り作型(9月中旬～翌6月上旬出荷)

5年に1度、改植。機械は4人供用。

農協、経済連扱い100%出荷。タンホール乾式輸送。

2. バラ栽培体系(受診農園の場合)

月旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
第1年次												
主要作業名												
第2年次以降												
主要作業名												
作型	△移植 ◎定植 ♡せん定			収穫始め～終り ☆暖房 ★暖房終り Ω二重被覆始め Ψ二重被覆終り								
品種名												

主要な技術及び留意点

土耕栽培(バラ)

[illegible]

(注1)基準値は、静岡県農業試験場モデル。

(注2)B、C欄は、診断先の実績を記入する。

(注3)栽培面積1畧の場合、およそ基準値の10倍の数字になると考えられる。

5. 収益と費用 土耕栽培(バラ)

(単位:kg、円、%)

項 目	基準値	診 断 対 象			対 比	備 考
	H 年 A 10%当り	H B 全 体	H C 全 体	H D 10%当り	D÷A×100	
粗収益	生産量	105,000				<単位:本>
	販売単価	75				出荷市場平均単価
	生産額	7,875,000				
	副産物収入	0				
	合 計	7,875,000				①
経営費	直接生産費	種苗費	211,200			種苗価格/更新年数(5年)
		肥料費	193,990			堆肥、ピートは価格/更新年数(5年)
		農薬費	280,540			
		光熱動力費	960,940			重油、電力、ガソリン代
		諸材料費	22,760			フラワーネット、支柱/使用年数
		小農具費	4,820			
		賃料料金	4,000			深耕コンボ代
		雇用労賃	595,850			850円/時間
		水利費	0			
		その他	18,000			
		計	2,292,100			
	出荷経費	資材費	325,500			ダンボール箱150円/CS、荷造り料5円/CS
		運賃	315,000			
		手数料	1,063,125			市場10%、農協2%、経済連1.5%
		その他	0			
		計	1,703,625			
	固定費	減価償却費	823,980			
		成園費・成蓄費	0			
		借地料	0			
		修繕費	200,298			
		その他	0			
		小 計	1,024,278			
	合 計	5,020,003				②
成果	農 業 所 得	2,854,997				③=①-②
	所 得 率 %	36.3				③÷①
	家族労働1時間当り所得	3,544				③÷T(円/時間)
家族労働見積額 円		1,450,080				
自己資本利子見積額 円		172,036				
自己地代見積額 円		12,000				
生産費(全額参入生産費)		6,654,119				④
利 潤 円		1,220,881				⑤=①-④
利潤率 %		15.5				⑤÷①
総労働時間(時間)		1,507				
家族労働時間		806				T
雇用労働時間		701				

(注1)基準値は、静岡県農業試験場モデル。

(注2)B、C、D欄は、診断先の実績を記入する。

(注3)栽培面積1%の場合、およそ基準値の10倍の数字になると考えられる。

6.将来の目標計画(6-1野菜・花き全体)

			項目	平成 年 A	平成 年	平成 年	平成 年	平成 年 B	B/A
経営規模	野菜		作付面積 (㎡)						
			生産量 (kg)						
			作付面積 (㎡)						
			生産量 (kg)						
			作付面積 (㎡)						
			生産量 (kg)						
	花き	バラ	作付面積 (㎡)						
			生産量 (本)						
			作付面積 (㎡)						
			生産量 (本)						
	土地建物		所有地 (ha)						
			借地 (ha)						
		ハウス (㎡)							
		堆肥舎 (㎡)							
労働力	自家		労働員数 (人)						
			労働時間 (年)						
	雇用	常時	労働員数 (人)						
			労働時間 (年)						
		臨時	労働員数 (人)						
			労働時間 (年)						
	総労働時間<年間>								
常時従業者一人当たり年平均時間									
経営戦略									

6.将来の目標計画(6-2バラ経営の発展段階)

下記の項目について診断先の該当部分を○で囲み、総合的に判断して現在の発展段階を判断する。

当社の現在の位置づけ(◎)

項目		第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	
内容	経営の発展段階	経営品目としてバラを導入し経営を行う	バラと他の品目との複合経営を行い、バラに力を入れていく段階	バラと他の品目との経営が調和し、安定経営が続く段階	他品目との複合経営からバラ専作経営となり、家族労働いっぱいまで行う段階	若干の雇用をいれ家族労働の範囲を超えてバラの規模拡大を行う段階	多くの雇用をいれバラの規模拡大をしていく段階	
	部門開始				専作拡大	自立～企業	企業経営	
規模	施設 (㎡)	1,000未満	1,000～2,000	2,000～3,000	3,000～5,000	5,000～10,000	10,000以上	
	労働力 (人)	2.3	2.7	3.0	4.3	5.8	13.3	
	家族(人)	2.2	2.6	2.5	3.0	3.4	4.3	
	雇用(人)	0.1	0.1	0.5	1.3	2.4	9.0	
	労働時間(1人・H)	2,200	2,100	2,000	1,900	1,800	1,800以下	
	主たる従業者の所得(万円)	600	680	700	800	1,000	1,000以上	
	所得 (万円)	200未満	200～400	400～600	600～1,000	1,000～2,000	2,000以上	
技術管理	品種選択	品種数	2～3	4～6	5～10	10前後	10～15	15以上
	選択基準	単価の高い品種	単価の高い品種	単価の高いもの、業務用品種	業務用品種、栽培容易な品種	市場業者と一体となった品種選択	市場業者と一体となった品種選択	
	生産対策	苗の確保	購入	自給	自給	購入	購入	
	土作対策		関心高い	関心高い	関心高い			
	生産目標	収量	収量・品質	収量・品質	収量・品質	収量・コスト	収量・コスト	
	環境制御	手動	半自動	半自動	自動	自動	自動	
	省力対策	環境				システム化	システム化	
	防除	動噴	動噴	動噴	自走式散布	自走式など	自走式など	
	技術導入				ロックワール栽培	ロックワール栽培	ロックワール栽培	
	選花方式	時家手選花	時家手選花	パート選花	時家手選花	選花機導入	選花機導入	
販売対策	販売方式	個選共販	個選共販	個選共販	共選共販	個選共販	個選共販	
経営管理	経営形態	補完的	部門開始	部門拡大				
	複合			複合経営	複合成熟			
	専作				専作経営	雇用導入		
	企業的					企業的経営		
	企業						企業経営へ	
	経営管理	財務	収量・金額	収益・費用	青色申告	複式簿記	複式簿記	外部委託
	作業	栽培歴による	栽培歴による	作業記録	作業記録	作業記録	作業管理	
	労務	なし	パート	パート	年間雇用	年間雇用	管理徹底	
	投資	なし	拡大	拡大	拡大・計画	長期計画	長期計画	
	販売	ノート記録	品種別整理	品種・等級	市場別管理	販売戦略	販売戦略	
経営者能力	経営理念	受動的日和見	自立模索型	自立積極型	拡大積極型	経営創造型	経営創造型	
	経営戦略	なし	拡大意欲発生	家族労働限界まで拡大	雇用依存経営開始	企業的経営へ移行	企業経営への展開	
	経営管理	技術習得	経営に着目	全体的管理	コスト管理	リスク管理	実務の外部位	
当社の現在の位置づけ(◎)								
今後の達成目標年		平成 年	平成 年	平成 年	平成 年	平成 年	平成 年	

注)・本表作成に当っては、「切花栽培の新技術・バラ(誠文堂新光舎)」中の「切り花バラ生産の経営並びに流通・消費 (静岡県の実態調査から作成)」(中澤久志氏)を引用させていただいた。

7.経営力チェックリスト

(5. 3. 1のいずれかに○印をつけてください。)

チェック者() 年 月 日

1. 経営者		得点		
①	経営目標や経営方針は毎年見直してレベルアップを図っていますか	5	3	1
②	外部環境の変化に積極的に取組み、現状改革に努めていますか	5	3	1
③	経営理念や将来像などを文書にして内部構成員に明示していますか	5	3	1
④	経営規模拡大や収益向上を目指し、販売先、流通方法などマーケティングに積極的に取り組んでいますか	5	3	1
⑤	生産情報公表JAS規格(認定農業者)への適合に努めていますか(種まきから農薬の種類、化学肥料、土壌改質材などの使用頻度・生産履歴を公表できる)	5	3	1
⑥	家族経営型から雇用経営型へと転換し、作物管理は従業員に任せ、経営者は労務管理や販売などに重点を置いて取り組んでいますか	5	3	1
⑦	経営問題について専門家やJA指導員と相談して解決を図っていますか	5	3	1
⑧	排水処理、土壌汚染対策等環境保全に積極的に取組み肥料の節約や省資源に努めていますか	5	3	1
⑨	後継者対策・雇用対策に取り組んでいますか	5	3	1
⑩	地域社会や集落営農組織との連携に努め共存共栄を図っていますか	5	3	1
得点計()				

2. 経営基本		得点		
①	経営目標・経営計画(長期・短期)を樹立していますか	5	3	1
②	全ての業務にPDCA(計画・実施・チェック・改善行動)サイクルを実施していますか	5	3	1
③	地域の特性や立地に合わせた栽培構成になっていますか	5	3	1
④	ハウスは年間を通じて有効に活用していますか	5	3	1
⑤	新技術や経営情報の習得に努め経営改善に生かしていますか	5	3	1
⑥	気象条件に対して省力化やノウハウの導入で生産性向上に努めていますか	5	3	1
⑦	常に経営資源(土地・労働力・農業投資)の有効活用を考慮していますか	5	3	1
⑧	パソコンによる事務記帳・作業日記による経営分析を行っていますか	5	3	1
⑨	生産高・損益・生産性を品目別に把握して業績向上に活用していますか	5	3	1
⑩	資金調達・省力化投資などの資金運用計画は立てられていますか	5	3	1
得点計()				

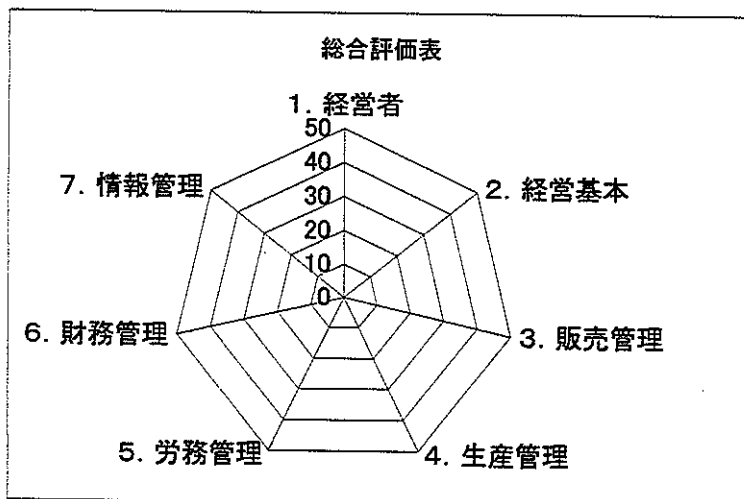
3. 販売管理		得点		
①	経営目標に沿って生産・販売計画を立てていますか	5	3	1
②	市場情報を的確につかみ、販売・生産に反映させていますか	5	3	1
③	過去の各々の販売実績を分析して、新しい販売計画を立てていますか	5	3	1
④	販売高の動向について、その原因分析を行っていますか	5	3	1
⑤	販売経路・販売促進・販売方法を考慮していますか	5	3	1
⑥	販売先との情報交換を分析して改善策を行っていますか	5	3	1
⑦	消費者のニーズや意見を農園の経営に生かしていますか	5	3	1
⑧	販売価格と生産費を常に意識して改善していますか	5	3	1
⑨	競争相手と比較して品質・価格をつかみ対抗戦略を考えていますか	5	3	1
⑩	JA共販・市場外販売など出荷形態は適切ですか	5	3	1
得点計()				

4. 生産管理		得点		
①	生産計画は、長期計画・短期計画別に立てられていますか	5	3	1
②	生産計画は、生産・販売・労務の関係担当者(部門)が協議して作成されていますか	5	3	1
③	マーケット動向や消費者ニーズを考慮した生産計画になっていますか	5	3	1
④	作目別の年間作業標準は作られ、それを守っていますか	5	3	1
⑤	ポジティブリスト制(登録以外の農薬の使用禁止の法律)の施行に対応して、農薬の管理体制の強化に努めていますか	5	3	1
⑥	地力に対して肥料の投入量を検討し、実施していますか	5	3	1
⑦	作目は自然や経済条件(環境)の特性を生かしていますか	5	3	1
⑧	適期作業・適期管理が行われていますか	5	3	1
⑨	農業機械の導入活用(自家用・委託)は、適切ですか	5	3	1
⑩	新しい栽培方式などの成功例を参考にしていますか	5	3	1
得点計()				

5. 労務管理		得 点		
①	希望通りの採用ができるよう対策を講じていますか	5	3	1
②	新入者や未熟練者に対して教育は充分実施していますか	5	3	1
③	目標・労働時間があり1日8時間・年間1800時間に近づいていますか	5	3	1
④	就業規則や服務規程があり、よく守られていますか	5	3	1
⑤	労災・社会保障・雇用保険に加入していますか(雇用4ヶ月以上ある場合)	5	3	1
⑥	家族・雇用者の年1回健康診断は実施していますか	5	3	1
⑦	従業員の福利厚生にも充分力を入れていますか	5	3	1
⑧	作業者の安全衛生基準があり、これが適切に実行されていますか	5	3	1
⑨	給与は社会的水準に比較して高いほうですか	5	3	1
⑩	意思の疎通・苦情処理にも努めて風通しのよい職場の雰囲気できていますか	5	3	1
得点計()				

6. 財務管理		得 点		
①	経営と家計の区別が適切に行われていますか。	5	3	1
②	複式簿記による記帳を行っていますか。	5	3	1
③	現金と預金の残高チェックが適切に行われていますか。	5	3	1
④	資金繰り表作成の上借入金の返済計画は適正ですか。	5	3	1
⑤	青色申告を行っていますか。	5	3	1
⑥	短期借入金に対する支払い能力は十分ありますか。	5	3	1
⑦	固定資産を購入するために短期借入金をつぎ込んでいませんか。	5	3	1
⑧	受取手形や売掛金が売上高に対して過大ではありませんか。	5	3	1
⑨	借入資本と自己資金のバランスは適当ですか。	5	3	1
⑩	利益目標達成のための財務分析を十分行っていますか。	5	3	1
得点計()				

7. 情報管理		得 点		
①	合理的な販売活動のため、市場調査・分析を行っていますか。	5	3	1
②	常に消費者の声を聞くことに心掛けていますか。	5	3	1
③	商品とともに生産者の声を消費者に届けていますか。	5	3	1
④	商品に対するクレームを整理し、生産・販売にいかしていますか。	5	3	1
⑤	顧客名簿を作成していますか。	5	3	1
⑥	顧客名簿は定期的に整理していますか。	5	3	1
⑦	顧客と意思疎通を、定期的に行っていますか。	5	3	1
⑧	広告活動(チラシ・DM等)を行っていますか。	5	3	1
⑨	消費者に本当に必要な情報を発信していますか。	5	3	1
⑩	顧客名簿の保全是万全ですか。	5	3	1
得点計()				



企業名()

採点基準

- ・充分な状態 5
- ・実施しているが、充分とはいえない 3
- ・実施していない、当てはまらない 1

1. 農業経営診断予備調査書 (1-1)

＜バラ＞ロックウール栽培
(平成 年 月 日現在)

診断希望事項											
1 経営体の概要	法人の形態	①個人経営 ②法人経営									
	法人名	e-mail HP									
	所在地	〒 Tel									
	代表者名	(年齢)									
	営業年数	年 (うち法人化 年)									
	決算日	月 日									
	集団生産	①有り ②無し									
	認定農業者	①である (第1回 H 年認定) ②でない ③予定 (H 年)									
	エコ・ファーマー	①である (第2回 H 年認定) ②でない ③予定 (H 年)									
	経営の業態	①単一経営 ②複合経営() <栽培法>①アーチング方式②ハイルック方式③その他									
環境型農業の取り組み	①廃材・廃液の再生活用 ②GAP(適正農業規範) ③MPS(花き産業環境プログ										
2 複合経営	耕種	穀物 ① ② ③			花き ① ②						
		野菜 ① ② ③			果物 ① ②						
		その他 ① ② ③			備考						
	畜産	①酪農 ②養豚 ③肉用牛 ④養鶏 ⑤養蜂 ⑥その他									
3 農業経営の現状と計画	加工	①農産物加工(品名) ②畜産物加工(品名) ③その他の加工(品名)									
	作目	作付け面積					施設面積				
	①						<農業経営の課題> ①施設の維持管理 (ランニングコストの削減・省力化の検討) ②作物の選定 ③市場対応 (低価格輸入品との差別化) ④環境リスクと環境配慮コスト ⑤従業員と労働時間 ⑥その他				
	②										
	③										
	④										
	合計										
	<経営耕作地>	地目(○印)					面積(a)				
		畑	田	山林	住宅	その他					
	所有地										
借入地											
<作業受委託>	作業内容					面積(a)					
4 栽培施設の現状と課題	施設・設備名	形式・性能等									
	①ハウス施設	ガラス			硬質板			硬・軟質フィルム			設置年度
		フェロン型	棟 m ²	棟 m ²	棟 m ²	棟 m ²	棟 m ²				
		両屋根型	棟 m ²	棟 m ²	棟 m ²	棟 m ²	棟 m ²				
		パイプハウス	棟 m ²	棟 m ²	棟 m ²	棟 m ²	棟 m ²				
	②暖房設備	①温湯式 ②温風式									
	③内装カーテン装置	①一層 ②二層 ③材質()									
	④かん水設備	①パイプ・ノズル方式②多目的装置③その他									
	⑤薬剤散布装置	①動力噴霧器②蒸散器③くん煙器④その他									
	⑥温室の制御	①マイコン制御②パソコン利用									
⑦作業室・冷蔵室	①レイアウト ②冷蔵室 m ²										
⑧その他											
<栽培施設・設備の課題> ①施設の老朽化 ②施設のメンテナンス ③施設の管理技術 ④環境リスク ⑤その他											
<生産方式の課題> ①品種の開発 ②病虫害防除技術 ③廃液対応技術 ④省エネ技術 ⑤情報管理・活用											

1. 農業経営診断予備調査書 (1-2)

＜バラ＞ロックウール栽培

(平成 年 月 日現在)

5 販売関係の現状と方針	(1) 消費者のニーズ把握	①している ②していない		(7) 販売計画達成上の課題																																																					
	(2) 対象とする客層	①決めている ②決めていない		(8) 今後の販売戦略上の課題																																																					
	(3) 直販顧客名簿	①あり ②なし ③作成予定																																																							
	(4) 販売計画	①あり ②なし ③作成予定																																																							
	(5) 計画の達成度	①高い ②普通 ③低い																																																							
	達成度が低い理由 ()																																																								
	(6) 代金回収	①農協経由 ②現金 ③その他																																																							
	(9) 農産物の品目別、生産量と販売額		(10) 流通(販売)先の割合																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>生産品目</th> <th>生産量</th> <th>販売額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>④</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑤</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>計</td> <td>トン</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>		生産品目	生産量	販売額	①			②			③			④			⑤			計	トン	千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>取引先</th> <th>取引量</th> <th>取引額</th> <th>数料率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①農協・市場</td> <td>%</td> <td></td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>②契約栽培 国内市場</td> <td>%</td> <td></td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>(商社含む) 国外市場</td> <td>%</td> <td></td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>③スーパー・外食</td> <td>%</td> <td></td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>④直販・朝市等</td> <td>%</td> <td></td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>⑤インターネット・宅配</td> <td>%</td> <td></td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>(100%)</td> <td>千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		取引先	取引量	取引額	数料率	①農協・市場	%		%	②契約栽培 国内市場	%		%	(商社含む) 国外市場	%		%	③スーパー・外食	%		%	④直販・朝市等	%		%	⑤インターネット・宅配	%		%	計	(100%)	千円	
	生産品目	生産量	販売額																																																						
①																																																									
②																																																									
③																																																									
④																																																									
⑤																																																									
計	トン	千円																																																							
取引先	取引量	取引額	数料率																																																						
①農協・市場	%		%																																																						
②契約栽培 国内市場	%		%																																																						
(商社含む) 国外市場	%		%																																																						
③スーパー・外食	%		%																																																						
④直販・朝市等	%		%																																																						
⑤インターネット・宅配	%		%																																																						
計	(100%)	千円																																																							
6 財務会計	(1) 複式簿記等財務諸表を作成		①している②していない③作成予定	(7) 施設・設備等への投資内訳																																																					
	(2) 財務諸表作成にパソコン使用		①している②していない③作成予定	投資施設・設備名 金額 千円																																																					
	(3) 資金繰表(キャッシュフロー管理)		①あり ②なし ③作成予定	①																																																					
	(4) 事業計画・利益計画		①あり ②なし ③作成予定	②																																																					
	(5) 借入金の内訳		③																																																						
	金融機関	金融機関名	金融資金(商品)名	借入金額(千円)	利率(%)																																																				
	政府系																																																								
	民間系																																																								
				合 計																																																					
(6) 借入金の主な使途																																																									
(8) 利益計画の達成状況と借入金返済状況																																																									
7 人事・労務関係	個人経営		法人経営	経営組織図(作業分担図)																																																					
	①家族協定書	有 無	有 無																																																						
	②労働条件通知書	有 無	有 無																																																						
	③就業規則	有 無	有 無																																																						
	④給与規定	有 無	有 無																																																						
	⑤退職規定	有 無	有 無																																																						
	⑥健康保険	有 無	有 無																																																						
	⑦福利厚生	有 無	有 無																																																						
	⑧労災保険	有 無	有 無																																																						
	⑨雇用保険	有 無	有 無																																																						
⑩安全衛生規則	有 無	有 無																																																							
8 農業経営上の課題	(1) バラ栽培の経営上の問題点		(該当番号に○印)	(1) マニュアルの整備 (yesに○印)																																																					
	①従業員の確保難		⑨生産方式の改善難	①設備機器オペレーションマニュアル																																																					
	②担い手の高齢化		⑩販売単価の下落	②温湿度管理マニュアル																																																					
	③作業システムの不備		⑪環境配慮型への移行	③設備保守マニュアル																																																					
	④技術革新への対応の遅れ		⑫その他	④ロックウール栽培マニュアル																																																					
	⑤設備の高ランニングコスト			⑤防除マニュアル																																																					
	⑥生産コストの上昇			⑥農作業マニュアル																																																					
	⑦設備投資の資金回収の遅れ			⑦パソコン等IT操作マニュアル																																																					
	⑧販売先の確保			⑧その他()																																																					

2. 農業経営診断予備調査書 (2-1)

<バラ>ロックウール栽培

(平成 年 月 日現在)

1. 農業経営の沿革						
(1) 経営規模の推移と内容						
(2) 現在の経営規模						
(3) 現在の経営の特色						
(4) 業界動向						
2. 農業経営コンセプト (程度)						
①安全・安心を基本コンセプトにした栽培をしている	①いる ②いない	◎ ○ △				
②販売先を明確にした計画的生産への取り組みをしている	①いる ②いない ③一部実施	◎ ○ △				
③顧客ニーズを把握した品種選定を行っている	①いる ②いない ③一部実施	◎ ○ △				
④環境に配慮した持続可能な農業への取り組みをしている	①いる ②いない	◎ ○ △				
⑤省力化・機械化の導入による効率化を図っている	①いる ②いない	◎ ○ △				
⑥ISO14001、9000等の導入を図っている	①いる ②いない	◎ ○ △				
⑦その他	①いる ②いない	◎ ○ △				
3. バラ栽培の生産内容						
方 式	作付面積	定植時期	出荷本数(千本)	品質把握取組	減農薬取組	廃液処理取組
アーチング栽培						
ハイラック方式						
レベリング仕立て法						
ベンディング法						
4. バラ栽培投入費用・収益(年間)						
	平成 年	平成 年	平成 年	平成 年	平成 年	備 考
栽培面積						
等級別収穫量(千本)						
秀品						
B品						
C品						
売上高(万円)						
投入費用(万円)						
投入労働力(時間)						
収益(万円)						
5. 現在の栽培方法の工夫						
6. 作目・品種・立地条件等の問題点						
7. 品種開発など計画中の品目について(検討状況・内容)						

2. 農業経営診断予備調査書 (2-2)

<バラ>ロックウール栽培

(平成 年 月 日現在)

8. 販売・受注状況・販売活動の特色

品目名	品質区分	販売先	販売単価 (円)	売上金額 (千円)	手数料率(%)	販売手数料 (千円)

9. ロックウール栽培設備・機器の状況

区分	種類	規格 能力	数量 相	取得価格 (千円)	耐用年数	減価償却費 (千円)	取得年度	備考
建物	複合環境制御							
	二重被覆装置							
	ロックウール システム							
	ビニールハウス							
	作業舎							
	その他()							
大農具	暖房機							
	無人防除装置							
	動力噴霧器							
	冷蔵庫							
	選花機							
	梱包機							
	軽トラック							
	その他()							
構築物	貯水槽							
	その他()							

10. 生産・技術・設備状況の推移

	創業時(年前)	3年前	2年前	1年前	現在	備考
作付け面積						
従業員数(内パート)	()	()	()	()	()	
使用面積 (内借地)	()	()	()	()	()	
システム台数	台	台	台	台	台	
システム稼働技術	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	
その他()						

11. バラ栽培の技術・研究について

①バラ栽培の体系(作業マニュアル)整理	①あり	②なし	③検討中
②バラ栽培の先進事例の視察・研究	①あり	②なし	③検討中
③バラ栽培の収量とプラント稼働時間の標準	①あり	②なし	③検討中
④バラ栽培の経営計画	①あり	②なし	③検討中
⑤ロックウール栽培の新たな作目への取組研究	①あり	②なし	③検討中
⑥ロックウール栽培方式の新技術の研究	①あり	②なし	③検討中

12. 労務管理の実施状況

①労働時間の短縮・合理化	◎ ○ △ ×	⑥報酬・退職金等の条件整備	◎ ○ △ ×
②担い手確保や後継者育成	◎ ○ △ ×	⑦福利厚生制度の整備	◎ ○ △ ×
③従業員の技術・研修	◎ ○ △ ×	⑧作業管理と安全管理	◎ ○ △ ×
④雇用者の労働報酬の決め方	◎ ○ △ ×	⑨腰痛対策等作業性の研究	◎ ○ △ ×
⑤雇用者確保の方法	◎ ○ △ ×	⑩その他()	◎ ○ △ ×

13. 販売・生産方式の問題点

＜バラ＞ロックウール栽培

(平成 年 月 日現在)

2.栽培体系(当社)

出展 「切花栽培の新技術 改定バラ上巻」 林勇著 誠文堂新光

主要卸売市場バラ卸売価格表(月別・推移と平均)



4. 生産作業別労働時間調査表・月別(1月～6月)

(4-1)

＜バングラデシュ人栽培 (個人 10アール当り)＞

作 業	1 月			2 月			3 月			4 月			5 月			6 月			1月～6月 小計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	10a当り時 間
育苗管理																			0.0
																			0.0
																			0.0
改植準備													2.0	3.0					5.0
																			0.0
																			0.0
定植													4.0	4.0	3.0				17.0
床シート張り																			0.0
ロツクアール																			0.0
マツト張り付け																			0.0
液肥作り			1.0		1.0			1.0											3.0
農薬散布										1.0		1.0				1.0	1.0	1.0	5.0
芽欠き、摘蕾	12.0	24.0	24.0	21.0	18.0	13.0	15.0	18.0	18.0	15.0	15.0	17.0	9.0	12.0	18.0	6.0	6.0	2.0	263.0
剪定																		12.0	12.0
折り曲げ・誘引																			0.0
ピンチ・整枝																			0.0
除草																15.0	9.0	21.0	45.0
通路清掃・後片付け													2.0	2.0					4.0
カーテン張り																		1.0	1.0
温室管理・修理					2.0						1.0								3.0
整備機器管理				1.0					1.0										2.0
収穫	15.0	17.0	18.0	17.0	15.0	12.0	15.0	15.0	18.0	21.0	24.0	18.0	20.0	21.0	24.0	15.0	15.0	12.0	312.0
調整・荷造り	15.0	17.0	18.0	12.0	15.0	12.0	18.0	15.0	21.0	15.0	21.0	12.0	15.0	18.0	15.0	14.0	14.0	12.0	279.0
出荷	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	2.0	3.0	2.0	2.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	40.0
合計	44.0	60.0	63.0	53.0	53.0	39.0	50.0	51.0	61.0	54.0	64.0	50.0	54.0	63.0	64.0	53.0	52.0	63.0	991.0

出展:データは湘南地域農業改良普及センター平成13年度版 単年度試験研究成績書を加工

4. 生産作業別労働時間調査表・月別 (7月～12月)

(4-1)

<ハナ>ロツクカール栽培 (個人 10アール当り)

作 業	7 月			8 月			9 月			10 月			11 月			12 月			7月～12月 月小計	モデルケース	労働 時間 割合%
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	10a当り 時間	10a当り 1月～12月 合計	
育苗管理																			0.0	0.0	
																			0.0	0.0	
																			0.0	0.0	
改植準備																			0.0	0.0	0.3%
																			0.0	0.0	
																			0.0	0.0	
定植																			0.0	17.0	0.9%
床シート張り				6.0															6.0	6.0	0.3%
ロツクカール				1.0		2.0													3.0	3.0	0.2%
マツト張り付け																			3.0	6.0	0.3%
液肥作り					1.0								1.0			1.0			3.0	6.0	0.3%
農薬散布				1.0		1.0	3.0	6.0	6.0	3.0	3.0	3.0	1.0			21.0	21.0	15.0	18.0	23.0	1.2%
芽欠き・摘蕾						3.0	6.0	6.0	6.0	13.0	14.0	24.0	15.0	15.0	15.0				174.0	436.0	23.6%
剪定	21.0	24.0	4.0																49.0	61.0	3.3%
折り曲げ・誘引			1.0	6.0	7.0	11.0	12.0	12.0	8.0	8.0	1.0								66.0	66.0	3.6%
ピンチ・整枝			3.0	7.0	15.0	12.0	14.0	8.0	5.0	5.0	2.0								71.0	71.0	3.8%
除草	21.0	15.0	24.0	6.0	1.0														67.0	112.0	6.1%
通路清掃・後片付け	6.0	11.0	18.0	8.0	2.0											1.0	1.0		45.0	50.0	2.7%
カーテン張り																			2.0	2.0	0.1%
温室管理・修理										1.0		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		7.0	10.0	0.2%
整備機器管理							1.0												1.0	3.0	0.2%
収穫	6.0	2.0					1.0	9.0	12.0	14.0	15.0	18.0	15.0	15.0	15.0	15.0	17.0		169.0	481.0	26.1%
調整・荷造り	5.0	2.0					1.0	6.0	9.0	9.0	11.0	15.0	18.0	15.0	15.0	15.0	15.0		151.0	431.0	23.4%
出荷	1.0	1.0					1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		22.0	62.0	3.4%
合計	60.0	55.0	50.0	35.0	26.0	29.0	38.0	43.0	41.0	54.0	48.0	63.0	54.0	50.0	48.0	56.0	55.0	49.0	854.0	1,845.0	100.0%

出展データは湘南地域農業改良普及センター平成13年度版 単年度試験研究成績書を加工

4. 生産作業別労働時間調査表・月別(1月～6月) (4-1)
 <バラ>ロッケール栽培 (法人)

4. 生産作業別労働時間
 <バラ>ロッケール栽培

作 業	1 月			2 月			3 月			4 月			5 月			6 月			1月～6月 小計	作 業	7 月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			上旬	中旬	下旬
育苗管理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.0	育苗管理	0.0	0.0	0.0
																			0.0				
																			0.0				
定植準備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.0	32.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	128.0	定植準備	0.0	0.0	0.0
																			0.0				
																			0.0				
定植	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32.0	96.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	128.0	定植	0.0	0.0	0.0
養液管理	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	36.0	養液管理	2.0	2.0	2.0
薬剤散布	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	15.0	薬剤散布	1.0	1.0	1.0
折り曲げ	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	32.0	32.0	16.0	8.0	24.0	32.0	336.0	折り曲げ	48.0	48.0	48.0
ネット	0.0	0.0	16.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	64.0	ネット	0.0	24.0	8.0
芽かき・誘引	40.0	40.0	40.0	40.0	48.0	72.0	8.0	56.0	120.0	16.0	16.0	16.0	96.0	56.0	32.0	40.0	24.0	48.0	808.0	芽かき・誘引	72.0	48.0	48.0
ハウス管理	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	16.0	64.0	0.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	200.0	ハウス管理	8.0	8.0	24.0
																			0.0				
																			0.0				
収穫	80.0	80.0	80.0	80.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	140.0	160.0	160.0	140.0	2.160.0	収穫	80.0	80.0	80.0	
調整	80.0	80.0	80.0	80.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	140.0	160.0	160.0	140.0	2.160.0	調整	80.0	80.0	80.0	
出荷	20.0	20.0	20.0	20.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	35.0	35.0	35.0	35.0	525.0	出荷	20.0	20.0	20.0	
																			0.0				
																			0.0				
合計	246.0	246.0	262.0	263.0	345.0	369.0	409.0	409.0	409.0	409.0	409.0	409.0	409.0	414.0	414.0	414.0	406.0	6.656.0	合計	311.0	311.0	311.0	

出展データは静岡県2004年度版作物別技術原単位 静岡県農業水産部

4. 生産作業別労働時間調査表 (4-2)

＜バラ＞ロックウール栽培（法人）

	静岡県モデル	H 年当社(A)	H 年当社	H 年当社(B)	B/A
作付け面積(a)	80a				
作業人数(内雇人数)	10人(8人)				
備考	溶液栽培、ノブレス				

(単位:時間,%)

作 業	静岡県モデル			H 年当社		H 年当社		H 年当社		10a当り時間B/A
	全体時間	10a当り時間	労働時間割合%	10a当り時間A	労働時間割合%	10a当り時間	労働時間割合%	10a当り時間B	労働時間割合%	
育苗管理	96.0	12	0.8%							
定植準備	128.0	16	1.0%							
定植	128.0	16	1.0%							
養液管理	72.0	9	0.6%							
薬剤散布	33.0	4.125	0.3%							
折り曲げ	800.0	100	6.3%							
ネット	160.0	20	1.3%							
芽かき・誘引	1,680.0	210	13.1%							
ハウス管理	784.0	98	6.1%							
収穫	3,960.0	495	31.0%							
調整	3,960.0	495	31.0%							
出荷	975.0	121.875	7.6%							
合計	12,776.0	1597	100.0%							

(単位:時間)

	静岡県モデル		H 年当社	H 年当社	H 年当社	B/A
	全体時間	10a当り時間	10a当り時間A	10a当り時間A	10a当り時間B	
家族労働時間	3960	495				
常時雇用労働時間	0	0				
臨時雇用(通年)	0	0				
臨時雇用(パートタイム)	8816	1102				
合 計	12776	1597				

出展:データは静岡県2004年度版作物別技術原単位 静岡県農業水産部

4. 生産作業別労働時間調査表 (4-2)

＜バラ＞ロックウール栽培（個人）

	モデルケース	H 年(A)	H 年	H 年(B)	B/A
作付け面積(a)	33a				
家族労働力 (内10a当り雇用 時間)	2～3人(327時間)				
備考	鉄筋ガラス温室				

(単位:時間, %)

作 業	モデルケース			H 年 (A)		H 年		H 年 (B)		10a当り時間 B/A
	全体時間	10a 当り時間	労働時間割合%	10a 当り時間 A	労働時間割合%	10a 当り時間	労働時間割合%	10a 当り時間 B	労働時間割合%	
育苗管理	0.0	0.0	0.0%							
改植準備	16.5	5.0	0.3%							
定植	56.1	17.0	0.9%							
床シート張り	19.8	6.0	0.3%							
ロックウールマット張り付け	9.9	3.0	0.2%							
液肥作り	19.8	6.0	0.3%							
農薬散布	75.9	23.0	1.2%							
芽欠き、摘蕾	1,438.8	436.0	23.6%							
剪定	201.3	61.0	3.3%							
折り曲げ・誘引	217.8	66.0	3.6%							
ピンチ・整枝	234.3	71.0	3.8%							
除草	369.6	112.0	6.1%							
通路清掃・後片付け	165.0	50.0	2.7%							
カーテン張り	6.6	2.0	0.1%							
温室管理・修理	33.0	10.0	0.2%							
整備機器管理	9.9	3.0	0.2%							
収穫	1,587.3	481.0	26.1%							
調整・荷造り	1,422.3	431.0	23.4%							
出荷	204.6	62.0	3.4%							
合計	6,088.5	1,845.0	100%							

(単位:時間)

	モデルケース		H 年	H 年	H 年	B/A
	全体時間	10a 当り時間	10a 当り時間 A	10a 当り時間 A	10a 当り時間 B	
家族労働時間	5009.4	1518				
常時雇用労働時間		0				
臨時雇用(通年)		0				
臨時雇用(パートタイム)	1079.1	327				
合 計	6088.5	1845				

出展:データは湘南地域農業改良普及センター平成13年度版 単年度試験研究成績書

5. 作目別収穫量・粗収入・費用・農業所得調査表

＜バラ＞ロックウール栽培（法人）

区 分		静岡県モデル		H 年当社 (A)		H 年当社		H 年当社 (B)		B/A	
		全体	10a 当たり	全体	10a 当たり	全体	10a 当たり	全体	10a 当たり	全体	10a 当たり
生産	作付け面積 (a)	80	-		-		-		-		-
	生産量 (本)	840,000	105,000								
	販売単価 (円)	70	70								
	生産額 (千円)	58,800	7,350								

(単位:千円、時間)

区 分				静岡県モデル			H 年当社		H 年当社		H 年当社		倍率比較 B/A
				全 体	10 a 当 たり	費用割 合 %表示	10 a 当 たり A	費用割 合 %表示	10 a 当 たり	費用割 合 %表示	10 a 当 たり B	費用割 合 %表示	
農業経営費	変 動 費	直	種苗費	3,744	468	7.6%							
			肥料費	2,951	369	6.0%							
		接	農薬費	414	52	0.8%							
			光熱動力費	7,088	886	14.4%							
		生	諸材料費	1,279	160	2.6%							
			小農具費	40	5	0.1%							
		産	賃料料金	0	0								
			雇用労賃	7,494	937	15.2%							
		費	水利費	0	0								
			その他	100	13	0.2%							
		計	23,111	2,889	46.8%								
		費	出 荷	資材費	4,200	525	8.5%						
	運賃			2,016	252	4.1%							
	経 費		手数料	7,938	992	16.1%							
			その他	0	0								
	計		14,154	1,769	28.7%								
	小 計	37,265	4,658	28.7%									
	固 定 費	減価償却費	9,809	1,226	19.9%								
		成園費・成畜費	0	0									
		借地料	0	0									
		修繕費	2,279	285	4.6%								
		その他	0	0									
		小 計	12,088	1,511	24.5%								
合 計			49,352	6,169	100.0%		100%		100%		100%		
事 業 利 益				9,448	1,181								

出展:データは静岡県2004年度版作物別技術原単位 静岡県農業水産部

5. 作目別収穫量・粗収入・費用・農業所得調査表

＜バラ＞ロックウール栽培（個人）

区 分		モデルケース		H 年 (A)		H 年		H 年 (B)		B/A	
		全体	10a当 たり	全体	10a当 たり	全体	10a当 たり	全体	10a当 たり	全体	10a当 たり
生	作付け面積 (a)	33	-		-		-		-		-
産	生産量 (本)	399,300	121,000								
	販売単価 (円)	65.1	65.1								
	生産額 (千円)	25,994.4	7,877.1								

(単位:千円、時間)

区 分				モデルケース			H 年		H 年		H 年		倍率比較 B/A	
				全 体	10a当 たり	費用割 合 %表示	10a当 たり A	費用割 合 %表示	10a当 たり	費用割 合 %表示	10a当 たり B	費用割 合 %表示		
農業経営費	変動費	直	種苗費	941	285	4.7%								
			肥料費	1,109	336	5.6%								
		接	農薬費	449	136	2.3%								
			光熱動力費	3,990	1,209	20.0%								
		生	諸材料費	1,313	398	6.6%								
			小農具費	1,343	407	6.7%								
		産	賃料料金	0	0									
			雇用労賃	861	261	4.3%								
		費	水利費	0	0									
			その他	0	0	0.0%								
			計	10,006	3,032	50.2%								
		出 荷 経 費	資材費	551	167	2.8%								
			運賃	551	167	2.8%								
			手数料	2,600	788	13.1%								
			その他	0	0									
			計	3,703	1,122	18.6%								
	小 計			13,708	4,154	18.6%								
	固定費	減価償却費	6,214	1,883	31.2%									
		成園費・成畜費	0	0										
		借地料	0	0										
		修繕費	0	0	0.0%									
		その他	0	0										
		小 計	6,214	1,883	31.2%									
合 計			19,922	6,037	100.0%		100%		100%		100%			
事業利益			6,072	1,840										

出展:データは湘南地域農業改良普及センター平成12年度版 単年度試験研究成績書を加工

【モデルケース関連参考データ】

経営規模と労働力

経営規模	鉄骨ガラス温室、ロックウール栽培	3,300 m ²
経営類型	バラ切り花＋水稲	(0.6 ha)
労働力	家族労働力	2～3名、雇用 327 時間

(2) バラ（ロックウール栽培）の経済性

定植	6月下旬～7月上旬
収穫	10月中旬～6月下旬
収量	107-ル当たり
収量	121,000 本
単価	65.1 円/本
粗収入	7,877,100 円
経営費	6,036,732 円
物財費	4,653,720 円
種苗費	285,000
肥料費	336,160
農薬費	136,130
諸材料費	398,100
施設費(注1)	1,882,625
農機具費	406,737
光熱水費	1,208,968
雇用労費	261,600
出荷費	1,121,412 円
出荷資材費	167,150
出荷運賃	166,552
出荷手数料	787,710
産業所得	1,840,368 円
時間当たり所得	1,212 円/時間
所得率	23.4 %
採下労働時間	1,845 時間

(備考)
栽植密度:60本/3.3m²
品種構成:スタンダード 20%、スプレー 80%
単価:FAJ(1997～2001年平均)

(注1)プラスチックハウスで経営成果を算定すると
産業所得 2,813,368円、所得率 35.7%
1時間当たり所得 1,853円となる

【経費内訳】

区 分	10a当たり 使用量	経 費	備考
雨(注2)	6,000 株	285,000 円	190円/1株
硝酸石灰	830 kg	162,680 円	
硝酸カリウム	510 kg	98,940 円	
硫酸マグネシウム	250 kg	21,200 円	
第一硫酸アンモニウム	150 kg	39,600 円	
ほうちん	1,410 g	3,690 円	
硫酸亜鉛	860 g	2,060 円	
塩化マグネシウム	1,810 g	6,730 円	
硫酸銅	200 g	620 円	
モリブデン酸アンモニウム	100 g	640 円	
サンヨール乳剤	2,420 ml	6,000 円	
ミラネン水溶液	2,240 g	33,380 円	
トリファン乳剤	940 ml	8,080 円	
硫酸くん煙剤	6 kg	600 円	
DDVP	1,520 ml	320 円	
オルラン水和剤	840 g	6,300 円	
アタロン乳剤	830 ml	9,230 円	
バダン乳剤	760 ml	1,980 円	
エプセト水和剤	1,520 ml	5,350 円	
ダニオンフロアブル	1,520 ml	13,440 円	
コロマイト水和剤	760 g	15,050 円	
ゴッファフロアブル	760 ml	16,840 円	
ハロクフロアブル	760 ml	15,110 円	
ペンタック水和剤	280 g	4,450 円	
種付けキューブ	6,000 個	33,000 円	耐用4年
ロックウールマット	1,212 枚	80,000 円	耐用5年
根切りシート	545 m	65,400 円	耐用5年
カバーシート	40 m	7,200 円	耐用5年
温風ダクト	1 式	25,000 円	耐用2年
遮光カーテン	1 式	187,500 円	耐用5年
ガラス温室	1,000 m ²	1,254,000 円	耐用15年
温風式暖房機	1 基	393,750 円	耐用5年
一軸一層カーテン	1 式	69,000 円	耐用15年
簡易作業場(軽量鉄骨)	90 m ²	53,375 円	耐用22年
冷蔵庫	3.2 m ²	112,500 円	耐用8年
ロックウールシステム	1 式	354,500 円	耐用10年
動力噴霧器	1 基	4,125 円	耐用5年
背負い動噴	0.3 台	561 円	耐用5年
硫酸くん煙用ホットプレート	12 台	25,920 円	耐用5年
段ボール結束機	1,400 箱	18,340 円	耐用5年
軽トラ(550cc)	80 km	3,291 円	耐用4年
電気料	4,800 kwh	115,200 円	
水道料	175 m ³	35,525 円	
A重油	33,000 リットル	1,056,000 円	
ガソリン	17.6 リットル	1,584 円	
軽油	2.16 リットル	141 円	
潤滑油		518 円	(ガソリン代＋軽油代)×0.3
雇用労働費	327 時間	261,600 円	800円/1時間
(出荷費内訳)			
出荷用段ボール	1,210 箱	151,250 円	
輪ゴム	3 箱	3,900 円	3,000本/1箱
梱包テープ	30 巻	6,000 円	
フルコンテブ	10 巻	3,000 円	
送付状コピー代		3,000 円	300枚
(集出荷所までの輸送経費)			
トラック		7,552 円	0.5km×2×110(回)
出荷運賃		159,000 円	450円/1梱包
市場出荷手数料		787,710 円	販売金額(7,877,100円)×10%

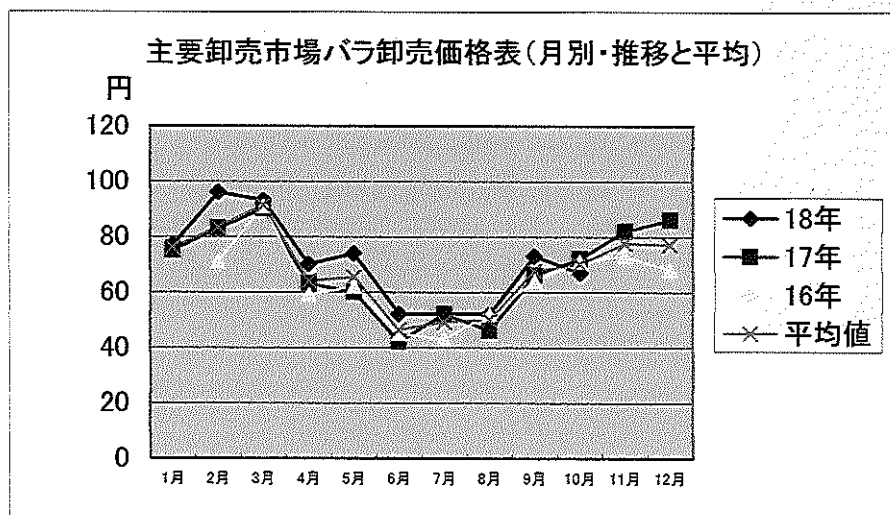
(注2)6,000本/5年×190円

平成13年度(平成13年～17年度)
バラ(ロックウール栽培)の経済標準指標 湘南地域農業改良普及センター

5. 現在考えている成長目標

＜バラ＞ロックウール栽培

目 標	現在	2年後	5年後	備考
(1)規模				
施設 棟				
面積 ha				
10a当り本数 本				
労働力				
（家族 人				
（雇用 人				
販売額 千円				
(2)品種選択 品種名				
選択基準(単価)				
（業務用品種）				
（栽培の容易性）				
（契約栽培への対応）				
(3)生産対策 苗の確保				
（購入）				
（自給）				
生産目標				
（収量を重視）				
（品質を重視）				
（コストを重視）				
環境制御				
（手動）				
（半自動）				
（自動）				
(4)省力対策 防除				
（動噴）				
（自走式）				
選花方式				
（自家手選花）				
（選花機導入）				
(5)経営 経営形態				
（部門ごと）				
（専作拡大）				
（企業経営）				
経営管理（財務の方法）				
青色申告				
複式簿記				
外部委託				
（雇用の方法）				
パート雇用				
通年雇用				
（販売）				
市場別管理				
販売戦略				



農林水産省 卸売価格

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
18年	77	96	93	70	74	52	52	52	73	67		
17年	75	83	90	63	60	42	52	46	66	72	82	86
16年		71	91	59	62	45	43	52	64	71	73	68
平均値	76	83.3	91.3	64.0	65.3	46.3	49.0	50.0	67.7	70.0	77.5	77.0

花壇苗経営診断調査書 (花壇苗)

1. 栽培体系と消費の特徴 (概要)

花壇苗は、鉢花に比べて1ポット当たりの単価が安価であるため、低コスト生産による販売数量の確保が基本になる。そのため、施設の利用効率を高めるための栽培体系の組み立てと合理化がポイントになる。消費の山はあるものの周年化の方向にあり、花壇形式の多様化とともに需要形態も多様化してきている。

花壇苗の作型 (例)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
初夏花壇苗	マリーゴールド	●—┐—■											
	ニチニチソウ	●—┐—■											
秋用花壇苗	ハボタン	●—┐—○—■											
	パンジー	●—┐—■											
番用花壇苗	クリサンセマム	○—┐—											
	ムソースボール	○—┐—											
	パンジー、ビオラ	○—┐—											

● たねまき ┐ 鉢上げ ○ 定植 ■ 収穫・出荷 (出典：草花栽培の基礎—新版 農文協)

◆栽培体系例示

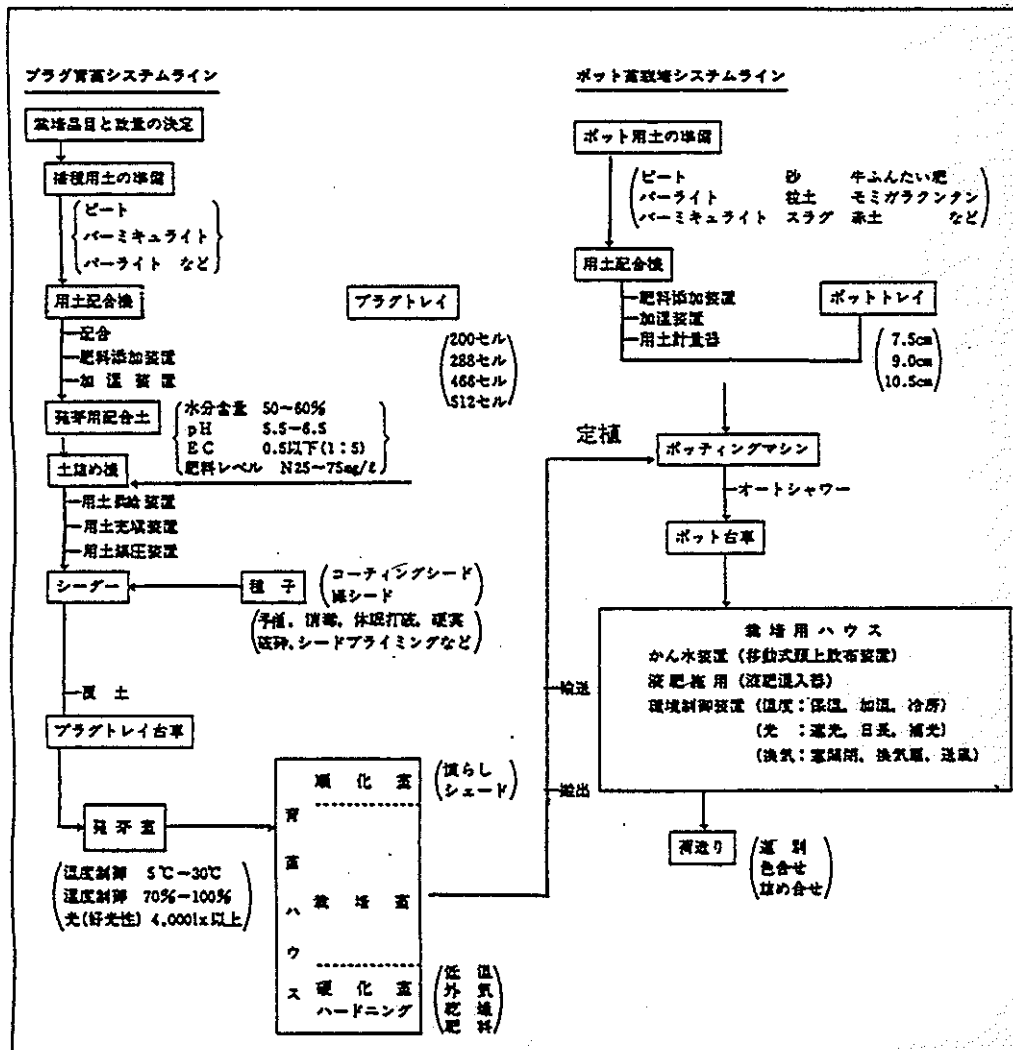
月旬	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
パンジー					○	○	○					
主要作業					播種 (3号)	鉢上げ	追肥	出荷				
サルビア										○	○	○
主要作業		出荷								播種 (3号)	鉢上げ	追肥
ベチュニア	○	○									○	○
主要作業	追肥	出荷									播種 (3号)	鉢上げ

(出典：静岡県農水部原単位)

◆診断先の栽培体系

月旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	
主要作業													

(図) 花壇苗生産システム (例)



(出典：花き生産指針 徳島県農林水産部 平成6年3月)

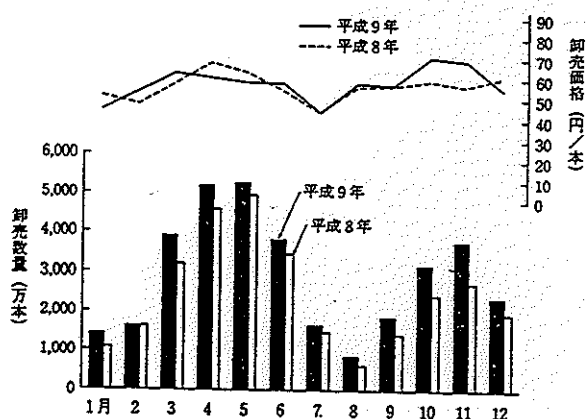
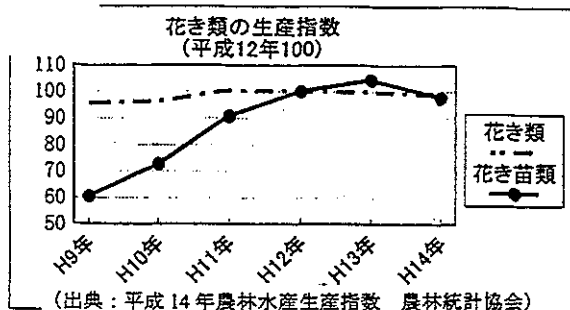


図 花壇用苗物類の月別卸売数量、販売価格の推移
平成9年花き流通統計調査報告、農林水産省統計情報部 (平成11年2月)
月別卸売数量の変動は大きく、春出荷期の3～4月、初夏出荷の5～6月に最大のピークがあり、花壇用苗物類の需要がこの時期に集中していることがうかがえる。次に秋出荷期の10月から12月はパンジーとハボタンを中心とした需要の増加によるもので、今後新商品の開発が待たれる。夏休みの7月から8月が最低で、厳寒期の1月から2月よりも少ない。夏休み明けの9月、季節感のある初秋物の需要の増加が期待されている

(出典：花壇苗生産の技術と経営 農文協)

2. 農業経営診断予備調査表

診断希望事項						
1 生産者の概要	経営形態	①個人経営②法人経営			資本金（元入金）	千円
	経営体名				役員	人
	所在地	〒	Tel		従業員	人
	代表者名				パート	人
	認定農業者	年	月	（初回認定）	後継者の有無	
	エコファーマー	年	月	認定	休日数	
	経営年数	年	その他			
	決算日	年	月			
	経営の業態	①単一経営②複合経営				
2 経営の特徴	兼業・専業別					(経営課題)
	農業粗収益 千円／年					
	農業経営費 千円／年					
	農業所得 千円／年					
	その他					
3 生産方式	設備名	性能	台数	その他		(生産課題)
4 販売方式	販売先	単価	数量	販売額	販売方式	(販売課題)
	年合計					
5 財務関係	短期借入金の内訳					(財務課題)
	長期借入金の内訳					
6 労務関係	作業マニュアルの有無					(労務課題)
	就業規則の有無					
7 その他	(追加事項があれば、別紙で記載して下さい) 家族協定書の有無					(その他課題)

3. 農業経営診断調査表

1. 農業経営の概況				
①経営規模	露地	a	ハウス	a 棟
	花きの出荷額		千円	ポット トレイ
②資産状況	流動資産		千円	負債 千円
	固定資産経営資産		千円	自己資本（元入金） 千円
③収益状況	農業粗収益		千円	農業所得 千円
	農業経営費		千円	農業所得率 %
2. 経営方針及び経営の特徴			(問題点)	
3. 販売の状況			(問題点)	
①販売先				
卸売市場	千円 (%)			
契約先	千円 (%)			
自家販売	千円 (%)			
通信販売	千円 (%)			
その他	千円 (%)			
②営業活動の有無				
4. 生産の状況			(問題点)	
①花き名				
②設備名				
③栽培技術の向上策				
技術指導の有無				
モデル栽培の視察				
5. 財務の状況			(問題点)	
①短期借入金	②長期借入金			
借入先及び金利				
返済計画				
③自己資本比率				
6. 労務の状況			(問題点)	
①労働時間	時間／日			
	時間／年			
②労働協定等の有無				
③従業員の採用状況				
④福利厚生状況				
7. その他			(問題点)	

4. 収益と費用

単位：千円/年

項 目	10a 当たり A (基準)	診断対象			対比 D ÷ A × 100	摘要
		H 年 B (全体)	H 年 C (全体)	H 年 D10a 当 たり		
粗 生産量 (ポット)	100,000					
収 販売単価 (円/ポット)	37.5					
益 生産額	3,750					
その他						
合計	3,750					①
経 営 費	変 種苗費	571				
	接 肥料費	14				
	生 農薬費	30				
	動 光熱動力水費	56				
	産 生産資材費	787				
	費 (用土費)	(513)				
	(ポット費)	(125)				
	(プラグトレ費)	(79)				
	雇用労賃	280				
	その他					
	計	1,738				
	出 荷造費	163				
	荷 市場手数料	375				
	経 其他					
	費 計	538				
小計	2,276					
固 定 費	減価償却費	455				
	修繕費	90				
	保険・共済	11				
	小計	556				
合計	2,832					②
成 農業所得	918					③=①-②
果 所得率 (%)	24.5					③÷①
1 時間当たり労働所得	0.727					③÷T
家族労働見積額	1,662					
自己資本利子見積額	113					
自己地代見積額	10					
生産費 (全額参入生産費)	4,617					④
利潤	△ 867					⑤=①-④
利潤率 (%)	△ 23.1					⑤÷①
総労働時間 (時間)	1,662					
家族労働時間 (時間)	1,262					T
雇用労働時間 (時間)	400					

(注) 基準値は、「パンジー花壇苗」の徳島県に於ける平成 16 年度版経営指標

5. 作業別労働時間調査表

(単位：時間)

項目	基準値	診断対象			対比	備考
	10a 当 たり A	H 年 (全体) B	H 年 (全体) C	H 年 10a 当たり D	$D \div A$ $\times 100$ (%)	
(1) 作付面積(a)	10					
(2) 労働時間合計	1,662					
家族労働時間	1,262					
雇用労働時間	400					
(3) 作業別労働時間						
用土混合	6					
用土詰め	7					
播種	16					
移植(鉢上)	840					
病虫害防除	32					
灌水	295					
施肥(置き肥)	45					
出荷調整	306					
出荷	115					
(4) 年間1人当たり 労働時間	421					

(注) 基準値は、「パンジー花壇苗」の徳島県に於ける平成16年度版経営指標

6. 経営分析

部門	比率名	計算式	単位	H 年 月期	H 年 月期	H 年 月期	全国指標
収益性	農業収益指数	当該期農業収益					
		3ヵ年当初期農業収益	%				—
	経営資本対農業所得率	農業所得					
		経営資本	%				—
		農業所得(農業収益-農業経営費)					
	農業収益対農業所得率	農業収益	%				35.0%
	販売費・管理費比率	販売費・管理費					
		農業収益	%				—
安定性	固定比率	固定資産					
		自己資本	%				—
	固定長期適合率	固定資産					
		自己資本+長期借入金	%				—
	流動比率	流動資産					
		流動負債	%				—
	当座比率	当座資産					
		流動負債	%				—
	総資本対自己資本比率	自己資本					
		総資本	%				—
生産性	農業収益対支払利息比率	支払利息-受取利息					
		農業収益	%				—
	農業労働1時間当たり	農業所得					円
		農業労働時間	円				980
	作付面積10a当たり	農業所得	千円				千円
		作付面積(a)÷10	円				937
資金繰り							
	農業固定資本回転率	農業収益					
		固定資産	回				1.0
	借入金月商倍率	短期借入金+長期借入金					
		農業収益÷12					—
評価	※全国指標は、「平成17年版 農林水産統計：施設花き作部門」平均値						
	○収益性						
	○安定性						
	○生産性						
	○資金繰り						
	○総合						

7. 経営力チェックリスト

(5,3,1 のいずれかに○印をつけてください)

1. 経営者		得点		
①	経営目標や経営方針は毎年見直してレベルアップを図っていますか	5	3	1
②	外部環境の変化に積極的に取り組み、現状改革に努めていますか	5	3	1
③	経営理念や将来像などを文書にして内部構成員に明示していますか	5	3	1
④	経営規模拡大や収益向上を目指し、販売先、流通方法などマーケティングに積極的に取り組んでいますか	5	3	1
⑤	生産履歴公表に努めていますか	5	3	1
⑥	家族経営型から雇用経営型へと転換し、作業管理は従業員に任せ、経営者は労務管理や販売などに重点をおいて取り組んでいますか	5	3	1
⑦	経営問題について専門家やJA指導員と相談して解決を図っていますか	5	3	1
⑧	養液栽培では廃水管理・土壌汚染対策など環境保全に積極的に取り組み、肥料の節約や省資源に努めていますか	5	3	1
⑨	後継者対策・雇用対策に取り組んでいますか	5	3	1
⑩	地域社会や集落営農組織との連携に努め共存共栄を図っていますか	5	3	1
得点計 ()				

2. 経営基本		得点		
①	経営目標・経営計画（長期・短期）を樹立していますか	5	3	1
②	全ての業務に PDCA（計画・実施・チェック・改善行動）サイクルを実施していますか	5	3	1
③	地域の特性や立地に合わせた栽培構成になっていますか	5	3	1
④	ハウスは年間を通じて有効に活用していますか	5	3	1
⑤	新技術や経営情報の習得に努め経営改善に活かしていますか	5	3	1
⑥	気象条件に対して省力化やノウハウの導入で生産性向上に努めていますか	5	3	1
⑦	常に経営資源（土地・労働力・農業投資）の有効活用を考慮していますか	5	3	1
⑧	パソコンによる事務記帳・作業日誌による経営分析を行っていますか	5	3	1
⑨	生産高・損益・生産性を品目別に把握して業績向上に活用していますか	5	3	1
⑩	資金調達・省力化投資などの資金運用計画は立てられていますか	5	3	1
得点計 ()				

3. 販売管理		得点		
①	経営目標に沿って生産・販売計画を立てていますか	5	3	1
②	市場情報を的確につかみ、販売・生産に反映させていますか	5	3	1
③	過去の各々の販売実績を分析して、新しい販売計画を立てていますか	5	3	1
④	販売高の動向について、その原因分析を行っていますか	5	3	1
⑤	販売経路・販売促進・販売方法を考慮していますか	5	3	1
⑥	販売先との情報交換を分析して改善策を行っていますか	5	3	1
⑦	来園者のニーズや意見を農園の経営に活かしていますか	5	3	1
⑧	販売価格と生産費を常に意識して改善していますか	5	3	1
⑨	競争相手と比較して品質・価格をつかみ対抗戦略を考えていますか	5	3	1
⑩	JA 共販・市場外販売など出荷形態は適切ですか	5	3	1
得点計 ()				

4. 生産管理		得点		
①	生産計画は、長期計画・短期計画別に立てられていますか	5	3	1
②	生産計画は、生産・販売・労務の関係担当者（部門）が合議して作成されていますか	5	3	1
③	マーケット動向や消費者ニーズを考慮した生産計画になっていますか	5	3	1
④	作目別の年間作業標準は作られ、それを守っていますか	5	3	1
⑤	ポジティブリスト制度の施行に対応して、農薬の管理体制の強化に努めていますか	5	3	1
⑥	地力に対して肥料の投入量を検討し、実施していますか	5	3	1
⑦	作目は自然や経済条件（環境）の特性を活かしていますか	5	3	1
⑧	適期作業・適期管理が行われていますか	5	3	1
⑨	農業機械の導入活用（自家用・委託）は、適切ですか	5	3	1
⑩	ベット式・養液栽培などの成功例を参考にしていますか	5	3	1
得点計 ()				

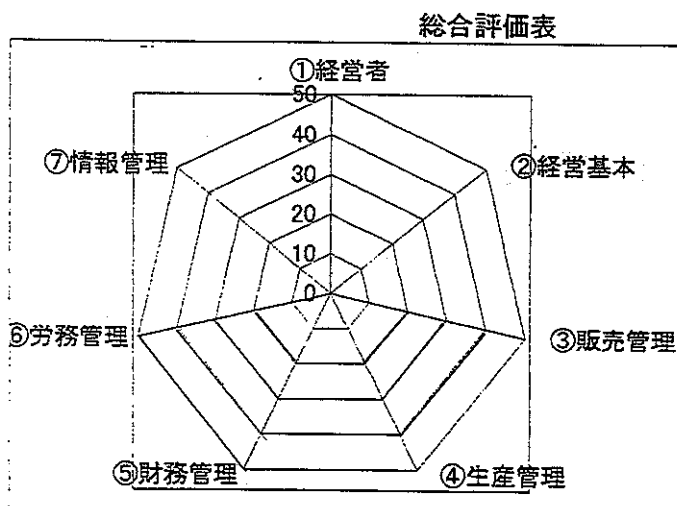
5. 労務管理		得点		
①	希望通りの採用ができるよう対策を講じていますか	5	3	1
②	新入者や未熟練者に対して教育は充分実施していますか	5	3	1
③	目標労働時間があり1日8時間・年間1800時間に近づいていますか	5	3	1
④	就業規則や家族協定があり、よく守られていますか	5	3	1
⑤	労災・社会保障・雇用保険に加入していますか	5	3	1
⑥	家族・雇用者の年1回健康診断は実施していますか	5	3	1
⑦	従業員の福利厚生にも充分力を入れていますか	5	3	1
⑧	作業者の安全衛生基準があり、これが適切に実行されていますか	5	3	1
⑨	給与は社会的水準に比較して高い方ですか	5	3	1
⑩	意思の疎通・苦情処理にも努めて風通しのよい職場の雰囲気ができていますか	5	3	1
得点計 ()				

6. 財務管理		得点		
①	経営と家計の区分が適切に行われていますか	5	3	1
②	複式簿記による記帳を行っていますか	5	3	1
③	現金と預金の残高チェックが適切に行われていますか	5	3	1
④	資金繰り表作成の上借入金返済計画は適正ですか	5	3	1
⑤	青色申告を行っていますか	5	3	1
⑥	短期借入金に対する支払い能力は十分ありますか	5	3	1
⑦	固定資産を購入するために短期借入金をつぎ込んでいませんか	5	3	1
⑧	受取手形や売掛金が売上高に対して過大ではありませんか	5	3	1
⑨	借入資金と自己資本のバランスは適当ですか	5	3	1
⑩	利益目標達成のための財務分析を十分行っていますか	5	3	1
得点計 ()				

7. 情報管理		得点		
①	合理的な販売活動のために、市場調査・分析を行っていますか	5	3	1
②	常に消費者の声を聞くことに心掛けていますか	5	3	1
③	商品と共に生産者の声を消費者に届けていますか	5	3	1
④	商品に対するクレームを整理し、生産・販売に活かしていますか	5	3	1
⑤	顧客名簿を作成していますか	5	3	1
⑥	顧客名簿は定期的に整理していますか	5	3	1
⑦	顧客と意思疎通を定期的に行っていますか	5	3	1
⑧	広告活動(チラシ・DM等)を行っていますか	5	3	1
⑨	消費者に本当に必要な情報を発信していますか	5	3	1
⑩	顧客名簿の保全は万全ですか	5	3	1
得点計 ()				

- ・チェック日(平成 年 月 日) チェック者()
- ・企業名 ()
- ・採点基準
- | | | |
|---|-----|------------------|
| 5 | --- | 充分な状態 |
| 3 | --- | 実施しているが充分といえない状態 |
| 1 | --- | 実施していない、当てはまらない |

8. 総合評価(レーダーチャート)



8. SWOT 分析

◎経営の強み (S)

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

◎経営の弱み (W)

→

対応策

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

◎経営に対する順風 (O)

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

◎経営に対する逆風 (T)

→

対応策

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

9. 問題点の抽出と改善事項の提案

管理部門	問題点	改善事項	定期的 フォロー
経営全体	① ② ③		
経営者	① ② ③		
経営戦略	① ② ③		
生産	① ② ③		
販売	① ② ③		
財務	① ② ③		
労務	① ② ③		
情報	① ② ③		
その他			

10. 経営目標

A. 数値目標

(単位：千円,%)

	実績直近期 年 月期	目標 1 年後 年 月期	目標 2 年後 年 月期	目標 3 年後 年 月期	目標 4 年後 年 月期	目標 5 年後 年 月期
農業粗収益① (前年比)						
農業経営費② (前年比)						
農業所得 ③=①-② (農業所得率)						
生産性 (時間当たり) (面積当たり)						
借入金返済額 返済剰余金 (農業所得③ +減価償却費 -生活費)						
従業者数 (雇用者数)	人 (人)	人 (人)	人 (人)	人 (人)	人 (人)	人 (人)
その他 年間労働時間 家族労働時間 雇用労働時間						

B. 項目別目標

	実績直近期 年 月期	目標 1 年後 年 月期	目標 2 年後 年 月期	目標 3 年後 年 月期	目標 4 年後 年 月期	目標 5 年後 年 月期
土地の確保						
施設の拡張						
資金計画						
販路拡大						
その他 目標達成のため の経営戦略						